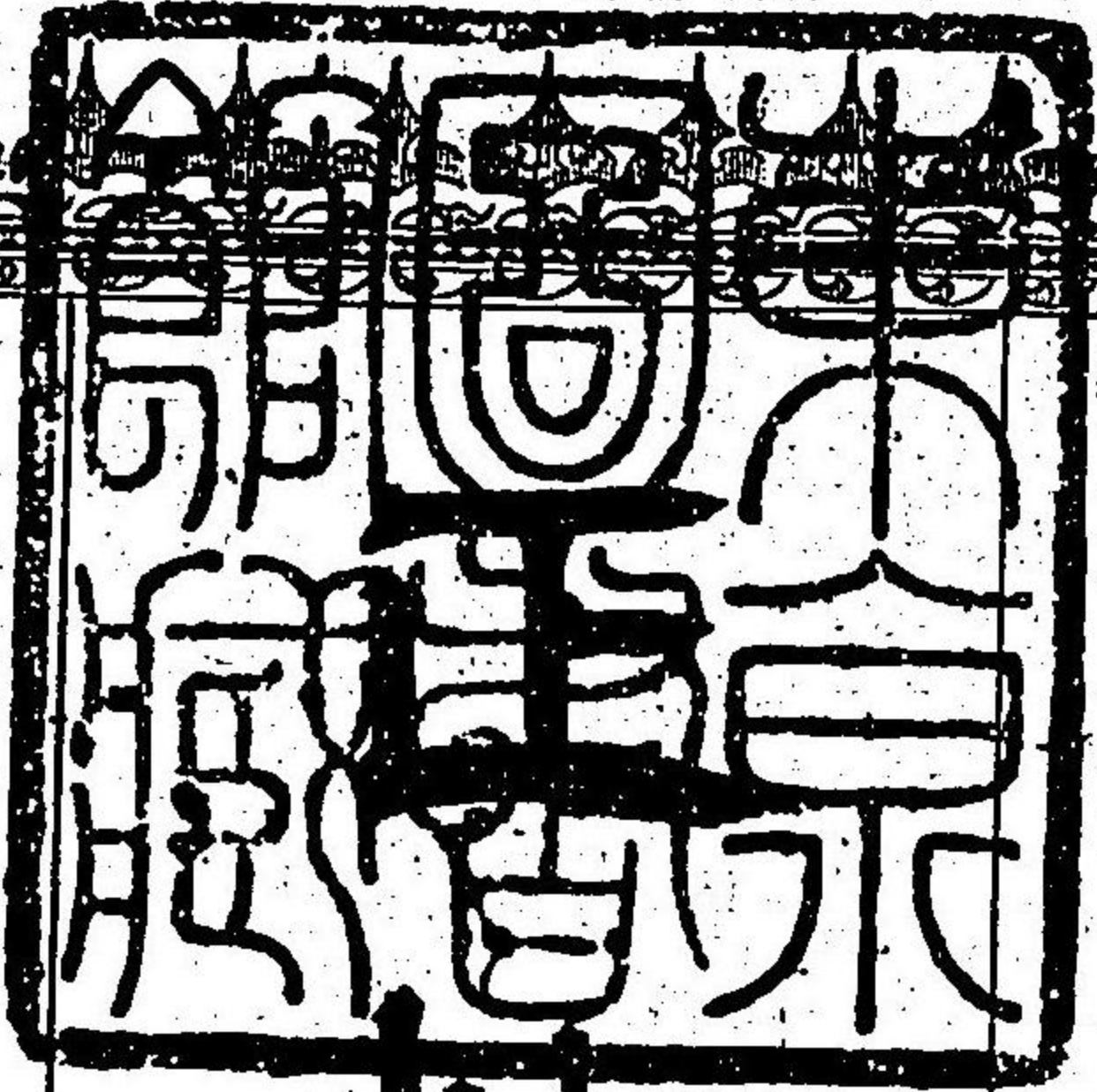


特18  
613



三井西面譯

正教會  
教訓蒙

明治十九年十月再版

正教會

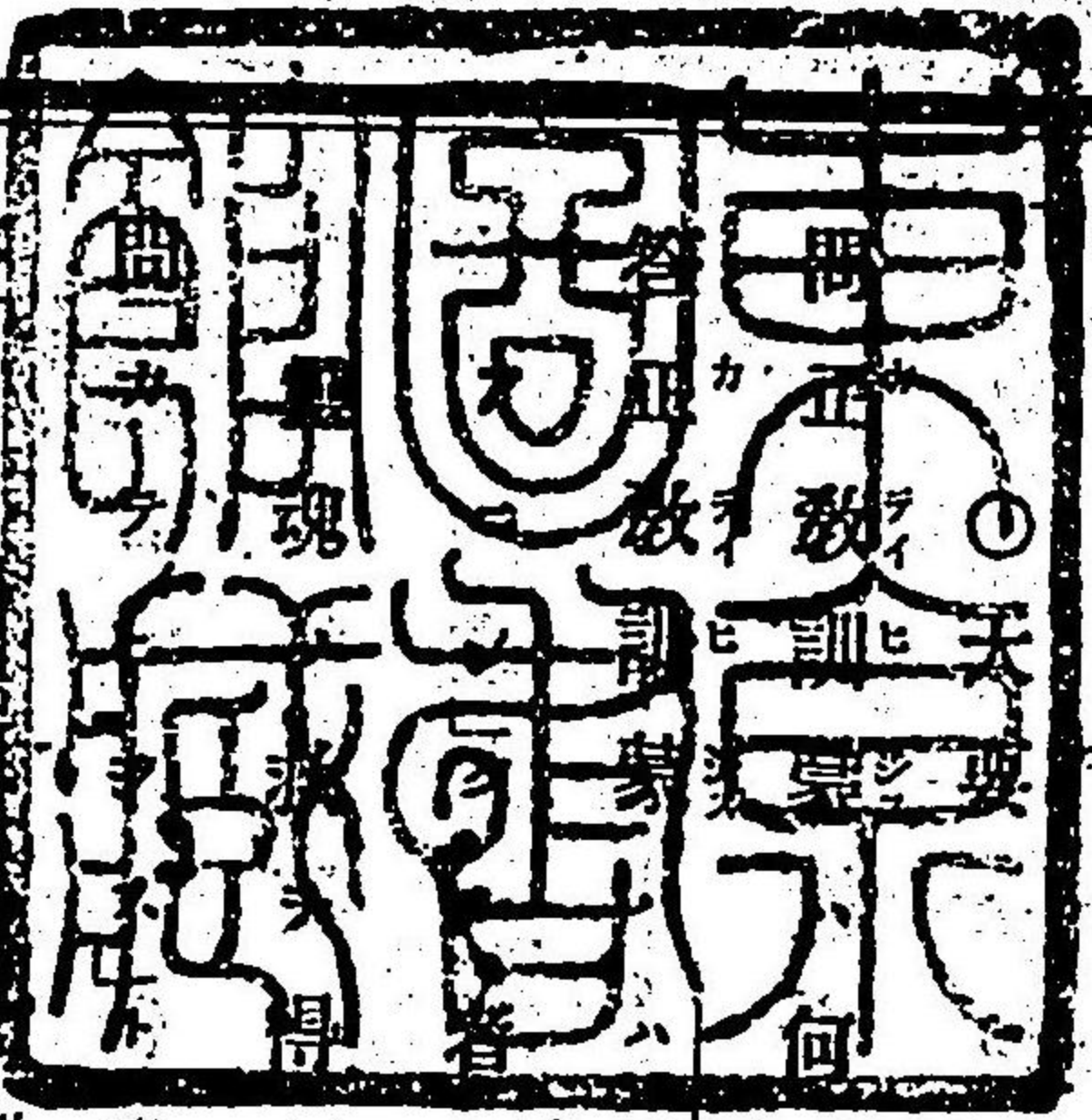
明治二十二年二月七日發行



正教訓蒙緒言

莫士科府主教 非刺列徒撰

三井西面譯



リス トス 正教ノ教訓ニシテ凡ソ「ハリス  
テ  
チシテ之ヲ學ヒテ神ノ悦ブ所ト爲リ及ヒ  
ル所以ヲ悟ラシムルモノナリ  
ハ何ノ意ソヤ

而シテ使徒時代以來凡ソ「ハリスティアコン」ニ必要ナルハリス  
トス正教ノ初學ヲ稱スルニ此語ヲ以テス  
(ルカ一ノ四、行實十)

問神ノ悦ヲ所ト爲リ及ヒ靈魂ノ救ヲ得ンニハ何チカ最要トスルヤ

答第一ニ眞神ヲ識リ及ヒ正シク之ヲ信スル事第二ニ信ニ適合スルノ行狀及ヒ善行ヲ要ス

問何爲信チ第一ニ最要スルヤ

答蓋シ聖書ニ證スルカ如ク「信ナクハ則チ神ニ悦ハルハ不能ハサルナリ」(エウレイ)

問何爲信ニ適合スルノ行狀及ヒ善行ハ必ス信ト並立セカ

答蓋シ聖書ニ證スルカ如ク「行ナキノ信ハ乃チ死ナリ」(イア)

問信トハ何ゾヤ

十二

イア

答聖パウロノ講明ニ依ルニ「信ハ乃チ望ム所ヲ疑フナク未

見ザル所ヲ據ト爲スナリ」(エウレイ)即チ未見ザル所ヲ確

信スル恰モ見ル所ニ於ルカ如ク望ム所及ヒ待ツ所ヲ確

信スル恰モ現在ニ於ルカ如キナリ

問知識ト信トハ何チ以テ相差別スルヤ

答知識ノ主眼トスル所ハ見ルベク曉ルベシ信ノ主眼トスル所ハ見ルベカラズ又曉ルベカラズ

知識ハ實物ヲ經驗探究スルニ本ク然ルニ信ハ眞理ノ證

ニ委信スルニ本ク者ナリ

知識ハ假令衷情ニ其作用ヲ及ボスヲアリト雖厄特ニ智

慧ノ範圍ニ属ス信ハ假令思想ニ由テ起ルト雖厄特ニ衷

情ノ範圍ニ属スルナリ

問 何爲敬虔ノ教ニ於テハ獨リ知識ノミナラズ又信ヲ要スルヤ

答 蓋シ此教ノ大主眼ハ乃チ見ルヘカラズ曉ルヘカラザルノ神ナリ奧妙秘藏ノ神智ナリ是故ニ此教ハ概シテ人智ノ以テ能ク包羅スベキモノニ非ス唯信以テ之ヲ受ルヲ得ベシ

イエルサリムノ聖キリル曰ク信ニ乃チ凡ソ良心ヲ照ラ  
スノ眼目人ニ睿識ヲ分與スル者ナリ預言者云ルアリ「若  
シ爾等信セザレバ則チ解悟ヲ得ズ」(イサヤ七ノ九)  
問 信ノ必要ナル他ニ何ヲ講明スルアルヤ  
答 聖キリル講明スル左ノ如ク「獨リ我等ハリストスノ名ヲ  
奉スル者信シ以テ大事トスルニ非ズ教會外ヲ民世界ニ在

テ行フ所爲ス所ノ諸事亦皆信ニ由ラサルハナシ農業ノ  
堅立スル信ニ根ス蓋シ人後來必ス稟實ヲ収獲スヘキヲ  
信セザレバ則チ必ス勞動ヲ耐久セザラン航海者ノ航行  
スルモ信ニ由ル夫レ航海ヲ業トスル者自己ノ命運ヲ一  
片ノ小木ニ托シ好ク陸地ヲ捨テ、波濤ノ漂漾定リナキ  
ヲ凌キ自己ヲ保シ難キノ期望ニ委ス而シテ其自ヲ持スル  
者ハ唯信ナリ信ハ則チ彼等ノ最モ恃ム所ニシテ諸凡ノ  
錨ヲ賴望スルニ優レテ遠シ(啓蒙教訓 五章)

○神ノ啓示

問 正教ノ教道ハ何クヨリ出テ來ルヤ

答 神ノ啓示ニ由ル

問 同神ノ啓示トハ何ナキヤ

答神自ヲ人々ヲシテ正シク且救ハル、様ニ神ヲ信シテ適  
 當ニ之ヲ崇敬セシメントテ啓示セシモノヲ謂フナリ  
 問神ハ斯ル啓示ヲ衆人ニ賜ヘシヤ  
 答神啓示ヲ賜フハ衆人ノ爲メナリ蓋シ衆人ノ爲ニ最要ニ  
 シテ且救ヲ得ルノ方ナレバナリ然レモ衆人皆神ヨリ直  
 ナニ之ヲ享クル能ハザルカ故ニ神其啓示ヲ報スルニ格  
 別ノ人ヲ用ヰテ啓示ヲ享クント欲スル人々ニ傳宣セシ  
 メタリ  
 問何爲衆人神ヨリ直ニ啓示ヲ享クル能ハザルヤ  
 答罪惡ノ汚穢ト靈魂及モ肉身ノ劣弱ナルニ由テナリ  
 問神ノ啓示ヲ報セシ人ハ誰シヤ  
 アダム、ソイアウラフムモイセイ及ヒ其他ノ諸預言者ハ

神ノ啓示ノ初ヲ享ク之ヲ傳宣シタリ而シテ人體ヲ取レル  
 神ノ子我主イエスキリストハ神ノ啓示ヲ地上ニ充  
 分完全ナラシメ其弟子及ヒ使徒ヲ以テ是ヲ普天下ニ傳  
 布セリ  
 使徒パウエル、ユウレイ人ニ達スル書ノ始ニ曰ク「昔シ神ハ  
 屢々多ク人方ヲ以テ預言者ニ因リ列祖ニ語ケシカ今此  
 季世ニハ其子ニ因テ我等ニ語ケタリ神彼ヲ立テ、萬物  
 ナ嗣ガシメ且彼ヲ以テ諸世ヲ造レリ」  
 同ク使徒コリンフ人ニ書シテ曰ク「我等奧妙秘藏ノ神智  
 ナ言フ則チ神諸世ニ先我等ノ榮ノ爲ニ預定セシ所ノ者  
 ニシテ斯世ノ有司誰モ之ヲ識ルモノガシ唯神其聖神ヲ  
 以テ曾テ之ヲ我等ニ示ス蓋シ聖神察セザル所ナシ亦神

ノ深情ヲ察スルナリ(前番二ノ)  
(七八十)

福音者イチアソ(福音書ニ書シテ曰ク)「從ヨリ未人神ヲ見  
ルアラズ唯獨生ノ子父ノ懷ニアル者曾テ之ヲ彰明ス(一  
ハ十)イイススハリストス自ラ曰ク「父ノ外ニ子ヲ識ル者ナ  
ク子及ヒ子ノ樂ヲ示ス所ノ者ヨリ外ニ父ヲ識ル者ナシ  
(一トフエイ  
ニトフエイ  
ニトフエイ)

問人神ノ格別ノ啓示ヲ享クルニ非サルヨリハ神ヲ識ルヲ能  
ハザルヤ  
答人神ノ造物ヲ熟觀審察スルニ由テ神ヲ識ルヲ得ベシ然  
レモ此レ固ヨリ不完全不充分ニシテ唯信ニ入ルノ準備  
或ハ神ノ啓示ニ由テ以テ神ヲ識ルノ幫助スルニ過キス  
「夫レ神ニ於テ見ルヘカラサル者即チ其永能ト其神体ト

世界ノ創造以來造物ニ由リ曉リ得テ明ニ見ルベシ  
(三十一)

「彼レ一ノ血脈ヨリ全人類ヲ造リ之ヲシテ地ノ全面ニ住  
ハセ時期ト其住所ノ界ヲ預定セリコハ彼等神ヲ尋テ或  
ハ之ヲ識リ而シテ得ルヲアランカ爲ナリ然リト雖モ彼レ  
我等各人ヲ離ルニ遠カラズ蓋我等彼ニ由テ生キ又動  
キ又存スルヲ得ルナリ(行實一廿七ハ)  
(廿六)

「神ヲ信スルニ先テ神何タルヤトノ念起ル我等是念ヲ造  
物ニ由リテ得ルナリ我等世界ノ造物ヲ熟觀審察シ以テ神  
ハ靈智タリ全能タリ仁善タルヲ識リ又其ルヲ見ルヘカ  
ラザル本性ヲモ識ル是ニ於テカ彼ヲ以テ無上ノ主宰ト  
承認スルナリ神ハ乃チ全世界ヲ造ルノ主而シテ我等ハ世

界ノ一分夫成不所入者ナレカ故隨テ亦神ニ我等ノ造成  
主ナリ此識悟ニ次ク者ハ信ナリ此信ニ次ク者ハ崇拜ナ  
リ（大ニシノイニ百  
三十三ノイニ百）

○聖傳及ヒ聖書

問神ノ啓示民間ニ弘布シ而シ之ヲ眞實ノ教會ニ保存スル  
ハ何ノ方法ニ由ルヤ

答二ノ方法ニ由ル則チ聖傳及ヒ聖書ヲ以テス

問聖傳トハ何ゾヤ

答聖傳トハ則チ眞ニ神ヲ崇信敬畏スルノ人言語ヲ以テ儀  
範ヲ以テ教道、神律、機密及ヒ聖禮ヲ彼是相傳ヒ先祖其子  
孫ニ傳フル者ヲ云フナリ

問聖傳ヲ確守スル藏府存ズルアリヤ

答凡ソ眞信ノ徒宗教ノ聖傳ヲ以テ相連結シ綿々不斷神ノ  
整齊ニ循テ自ラ教會ヲ成ス是即チ聖傳ヲ確守スルノ藏  
府或ハ聖パウエルノ言フカ如ク「活神ノ教會眞理ノ柱ト基  
ナリ」（テイモフイ前  
書三ノ十五）

聖イリチイ書ス曰ク「教會ヨリ容易ニ獲ラル、ノ眞理ヲ  
他人ニ探求ス可ラス蓋シ使徒ハ恰モ寶藏ノ如ク凡ソ眞  
理ニ屬スルモノハ是中ニ皆充分ニ貯蓄セリ是故ニ各々  
欲スル者ハ之ヨリ生命ノ飲料ヲ領スルヲ得ヘシ夫レ教  
會ハ乃チ生命ノ門戸ナリ」（異端辨駁書  
三卷四章）

問聖書トハ何ヲ稱スルヤ

答聖神ガ神聖ノ人所謂預言者并ニ使徒ニ托シテ錄セシ書  
ヲ云フ通常此書ヲ稱シテ「ビトーリア」ト云フナリ

問「ビニアリヤ」トハ何ノ意ゾヤ  
 答「ビニアリヤ」ハグレチヤノ語譯スレハ書籍ノ義ナリ此稱  
 ナ以テ聖書ハ他ノ諸書ニ越テ殊更注目スベキ者タルヲ  
 表示ス

問聖傳ト聖書ト何レカ先ナルヤ  
 答往古初メテ神ノ啓示ヲ弘布スルノ方法ハ乃チ聖傳ナリ  
 アダムヨリモイセイニ至ルマテ未聖書存スルナシ我主  
 イイススハリスドス自ラ弟子ニ其神教ト規制ヲ傳フル  
 コ言語及ヒ儀範ヲ以テシテ書ヲ以テセズ使徒始テ宗教  
 ナ弘布シハリストスノ教會ヲ堅立セシモ亦斯ノ方法ニ  
 由リシナリ傳ノ緊要ナル亦人民ノ讀書ヲ能スル者少キ  
 モ傳ニ至テハ衆人之ヲ裨用スルヲ以テ知ルヘシ

問然ラバ聖書ヲ授ケラレシハ何ツヤ  
 答神ノ啓示ヲ純全不易ニ保存スルカ爲ナリ我等聖書ニ於  
 テ預言者使徒ノ言ヲ誦ムニ假令ヒ聖書ハ今チ去ル一數  
 世若クハ數千年以前ノ記録ニ係ルト雖モ猶ホ彼等ト與  
 ニアリテ彼等ノ言ヲ聽クト異ナルナシ  
 問我等聖書アルモ亦宜シク聖傳ヲ固守ス可キヤ  
 答神ノ啓示ト聖書ニ相符合シタルノ傳ヲ固守ス可シ聖書  
 ニ之ヲ訓ニ使徒パウエル書シテ曰ク「兄弟ヤ爾等宜シク堅  
 立シ且或ハ言ニ由リ或ハ我等ノ書ニ由リテ爾等敢テ受  
 クル所ノ傳ヲ固守ス可シ」(二コリノ十五後書)  
 問何爲現今亦傳ヲ要スルヤ  
 答聖書ノ眞意ヲ了解スルニ導キ機密ヲ施行其適ヲ得最初



設立シタル所ノ法制ヲ純粹ニ保テ以テ聖禮ヲ恪守スル  
 カ爲ナリ  
 聖大ツシヨリイ<sup>ト</sup>斯ヲ言テ曰ク「教會ニ於テ遵守スル<sup>ドク</sup>定理及  
 ヒ宣教ノ中ニハ我等記載シタルノ教訓ニ由リテ獲一  
 連綿タル使徒ノ傳ニ由リテ秘密ニ之ヲ受ケタリ是二者  
 ハ敬虔ノ爲ニ同一ノ能力ヲ有シ而シテ假令ヒ善ク教會ノ  
 規制ヲ識ラザル者ト雖モ敢テ之ニ抵抗スル者アラザル  
 ナリ若シ記載セザル例ヲ重要ニ非ストシテ之ヲ棄テ  
 ハ則チ知テス識ラズ福音書ノ大主義ヲ傷害スルニ至ラ  
 シ早ク言テ使徒ノ宣教ヲ空名ニ歸セシムルナリ  
 例ニハ先ツ第一通常ノ例ヲ擧ケテ言ハシムルニ我主<sup>イ</sup>イ<sup>イ</sup>  
 ス<sup>ス</sup>ハ<sup>ハ</sup>リ<sup>リ</sup>ス<sup>ス</sup>ト<sup>ト</sup>ス<sup>ス</sup>フ<sup>フ</sup>名<sup>名</sup>ヲ<sup>ヲ</sup>特<sup>特</sup>ム<sup>ム</sup>者<sup>者</sup>十<sup>十</sup>字<sup>字</sup>形<sup>形</sup>ヲ<sup>ヲ</sup>畫<sup>畫</sup>ス<sup>ス</sup>ル<sup>ル</sup>ハ<sup>ハ</sup>誰<sup>誰</sup>カ<sup>カ</sup>書<sup>書</sup>シ

テ誨ヘシヤ祈禱ノ時東方ニ向フハ何ノ書我等ニ誨ヘシ  
 ヤ<sup>エウハリスティヤ</sup>感謝ノ麵包讚揚ノ杯化<sup>シ</sup>テ聖體聖血ト變スル時ニ際  
 シテ呼稱スルノ語ハ聖人誰カ書シテ我等ニ遺セシヤ蓋  
 シ我等使徒ノ書或ハ福音書ニ載スル所ノ語ノミヨ以テ滿  
 足セズ乃チ此語ヲ唱フルノ先後機密ヲ施行スルニ關シ  
 大能力アルノ語ヲ書セザルノ教ニ取テ以テ唱ルナリ  
 又洗禮ノ水傳スルノ膏又ハ被洗者ヲ祝福スルハ何ノ書  
 ニ由ルヤ是豈默々秘密ノ傳ニ由ルニ非ズヤ膏ヲ傳スル  
 ハ何ノ書我等ニ誨ヘシヤ人ヲ三次沈没スルハ何ヨリシ  
 テ來ルヤ其他洗禮ニ關シテ世ニ及ヒ其使ヲ棄ルハ何  
 ノ書ヨリ探知シヤ是レ皆彼ノ公報宣言セラレザルノ教  
 ニ由ルニ非ズヤ夫レ此教タルヤ我等ノ諸教父機密ノ聖

重ヲ保守スルハ宜シク沈黙ヲ以テスヘキヲ善ク教諭セ  
 ラレタルニ由テ好事ノ人搜聞ヲ好ム者ノ得テ聞ク可ク  
 ザルノ沈黙ヲ以テ保守セシ所ノ者ナリ蓋シ未洗禮ヲ願  
 セザル者ニ視ルモ允ス可ラザルノ教ヲ書シテ公告スル  
 ハ豈當然ノ理ナラシヤ(九十七ノ規則聖  
 神論ノ二十七章)  
 ○特ニ聖書ノ一  
 問何ノ時聖書ハ録サレシヤ  
 答種々ノ時代ニ係ル一ハハリストスノ降生前一ハ降世後  
 ナリ  
 問是ニ部ノ聖書各々別稱有リヤ  
 答有リハリストスノ降生以前ニ録サレタル聖書ヲ舊約書  
 ト稱シ又ハリストスノ降生以後ニ録サレタル聖書ヲ新

約書ト稱スルナリ

問舊約新約トハ何ゾヤ

答別ニ言ヘハ神在昔人々ト盟結シタル契約ト神新ニ人々

ト盟結シタル契約ナリ

問舊約トハ何等ノ事ヲ以テ組織セシヤ

答神人々ニ神ナル救主ヲ許約シ且彼ヲ享クルニ人々ヲ准

備セシ事ヲ以テセリ

問神救主ヲ享クルコト人々ヲ如何ニ準備セシヤ

答漸々ツ啓示ヲ以テシ及ヒ預言預象ヲ以テセリ

問新約トハ何等ノ事ヲ以テ組織スルヤ

答神實ニ其獨生ノ子神ナル救主イエスキリストスヲ以

テ人々ニ賜ヘシ事ナリ

問 舊約聖書ノ卷數ハ幾何ゾヤ

答 イエルサリムノ聖キリル聖大アフナシイ及ヒダマスク  
ノ聖イチャアソハ之ヲ數テ廿二卷トシ昔エウレイ人ガ其  
字母ニ循ヒ之ヲ數フルニ倣ヘリ  
アフナシイ三十九ノ書札祭  
期論ダマスクノ神學者イチャ  
アソ四書十  
七章參考

問 何爲エウレイ人ノ數フル所最モ當テ得タリトスルヤ

答 蓋シ使徒パウエルノ言ルカ如ク「神ノ諭彼等ニ託セラル」而

ノハリストスノ新約教會ハエウレイノ舊約教會ヨリ舊

約聖書ヲ受ケタレハナリ(ロマ三)

問 聖キリル聖アフナシイ舊約書ヲ數ル如何

答 左ノ如シ

一 創世記

二 エキペト出記

三 レウイト記

四 民數記零

五 復傳律例

六 イイススナウシ記

七 士師記及ヒ之ト共ニルフ記ナリ是レ猶ホ其増補ノ如

シ

八 第一第二列王紀零一書ヲ分テニトス

九 第三第四列王紀零

十 第一第二歴代志零

十一 エズドラノ前書及ヒ其後書或ハグレチヤノ題目ニ

依ンバチエミヤ記

十二 エス菲尔記  
 十三 イサフ記  
 十四 詩篇フタルライル  
 十五 ソロモンノ箴言  
 十六 ソロモンノ傳道書エクレシヤ  
 十七 ソロモンノ雅歌  
 十八 預言者イサイヤ書  
 十九 イエレミヤ記  
 二十 イエゼキイル書  
 廿一 ダニイル書  
 廿二 十二預言者ノ書  
 問以上數フル所ノ舊約書ノ中ニシラフノ子ノ睿智書及ヒ

其他ノ數書ヲ載セザルハ何ゾヤ  
 答是等ノ書ハエウレイノ語ニ非ザルヲ以テナリ  
 問是等ハ何ノ用ニ供ス可キヤ  
 答大アツナシイ曰ク諸教父是書ヲ以テ定メテ教會ニ入門  
 スル者ノ讀本トス  
 問舊約書ノ條件ヲ細密ニ區別スル如何  
 答是ヲ左ノ四部類ニ區別ス  
 一 律書ナリ此レ舊約ノ一大本根ヲ成ス  
 二 史書ナリ此レ殊ニ敬虔ノ史ヲ含ム  
 三 教書ナリ此レ敬虔ノ教ヲ含ム  
 四 預言書ナリ此レ將來ヲ預言シ及ヒ殊更イイススハリ  
 ストスニ於ルノ預言ヲ含ム

問 律書トハ何ゾヤ

答 モイセイノ著述セシ五書即チ創世記エギベト出記レウイ  
ト記民數紀零復傳律例是ナリ

イイススハリストス自ラ此五書ヲ總稱シテモイセイノ  
法律ト云ヘリ(ルカ二十四章ヨ)

問 創世記ハ特ニ何ヲ含ムヤ

答 世界ト人ノ創造ノ傳人類初時敬虔ノ史及ヒ其規制ヲ含

ム

問 其他モイセイノ四書ハ何ヲ含ムヤ

答 預言者モイセイノ時代ニ於ル敬虔ノ史記及ヒ神モイセ  
イニ托シテ授ケシ所ノ法律ヲ含ム

問 舊約ノ史書トハ何ゾヤ

答 イイススナウシ記士師記ルヲ記列王紀零歷代志略エズ  
ドラ書チエミヤ記及ヒエスライ記是ナリ

問 教書トハ何ゾヤ

答 イイスス記詩篇及ヒソロモンノ書是ナリ

問 詩篇ニ就テ特ニ注目スベキハ何ゾヤ

答 是書ハ敬虔ノ教ヲ記スルト共ニ敬虔ノ史傳ヲ示シ并ニ  
救主ハリストスニ於ル數多ノ預言ヲ含ムモノニシテ祈  
禱及ヒ神ヲ讚揚スルニ於テ至善至美ノ階梯タリ是ヲ以  
テ教會ノ神事ニ恒ニ之ヲ用フ

問 預言書トハ何ゾヤ

答 預言者イサイヤイエレミヤイエゼキイルダニイル及ヒ  
其他十二人ノ書是ナリ

問 新約書ノ卷數幾何ツヤ  
答 廿七卷

問 是等ノ内律書即チ殊ニ新約ノ本根ヲ成ス者アリヤ  
答 適ニ律書ト稱スベキ者ハ即チ「エワソングリエ」ナリ此レ福

音者「マトフエイマルクルカイマア」ノ四書ヨリ成立ス  
問「エワソングリエ」トハ何ノ意ツヤ

答 是レ「グレチヤ」ノ語ニシテ譯スレバ福音即チ嘉吉ナル音  
信或ハ歡喜ノ音信ト云ル義ナリ

問 所謂「エワソングリエ」ナル書ハ何ヲ福音スルヤ  
答 我主「イエス」スハリストスノ神性ノ事地上ニ降臨ノ事地

上ニ過活ノ事異能及ヒ救贖ノ教并ニ十字架ノ死赫奕  
タル復活及ヒ昇天等ナリ

問 何爲此書ヲ「エワソングリエ」ト稱スルヤ  
答 蓋シ人々ノ爲ニ神ナル救主ノ事ノ音信ト永遠無疆ノ救

贖ノ音信ト超テ喜ハシキモノアラザレハナリ是故ニ聖  
堂ニ於テ福音書ヲ誦スル毎ニ歡ハシキ讚頌ノ言ヲ以テ

之ヲ始ム其ノ終ルモ亦然リ曰ク「主ヤ爾ヲ讚揚シ爾ヲ讚  
揚ス」

問 新約書ノ内史書アリヤ  
答 有リ即チ聖使徒「アポストル」行實ノ書是ナリ

問 此書何ヲ傳フルヤ  
答 聖神ノ使徒「アポストル」ニ降臨セシ「ハリストス」教會彼等ニ由テ廣

布セシ「ナリ」  
問「アポストル」トハ何ツヤ

答此語譯スレバ使者ノ義ナリ我主イエイスズハリストスカ  
 遺ハシテ福音ヲ傳ヘシメタル選子弟ヲ稱スルニ此名ヲ  
 以テス  
 問新約ノ教書トハ何ツヤ

答七公書即チ使徒イアコフノ書一ペトルノ書二イテアン  
 ノ書三イウダノ書一及ビ使徒パウエルノ書十四即チロマ  
 人ニ一コリンフ人ニ二ガラタイヤ人ニ一エフェス人ニ一フィ  
 リビ人ニ一コロサス人ニ一ソルン人ニ二ティモフエイニ二ティ  
 トニ一フリモンニ一エウレイ人ニ一是ナリ

問新約書ノ内預言書モ亦アリヤ

答アボカリアシス(黙示録)乃チ是ナリ  
 問此語何意ツヤ

答グレチヤノ語譯スレバ啓示ノ義ナリ

問此書何チ含ムヤ

答ハリストス教會ト全世界ノ將來ノ運命ヲ奧妙不可思議  
 ニ象リシ者ナリ

問聖書ヲ讀ムニ何チ遵守ス可キヤ

答第一ニ聖書ハ神ノ言ナレハ之ヲ讀ムニ宜ク敬謹ノ心ヲ  
 用ヒ其意ノ明解ヲ得ルヲ祈ルベシ  
 第二ニ之ヲ讀ムニ宜ク宗教ニ教訓セラレ善徳ニ奮勵  
 セントスルノ清淨潔白ナル心ヲ以テスベシ  
 第三ニ之カ意ヲ領會スルニ宜ク正教會及ヒ聖教父ノ講  
 明ニ遵循ス可シ  
 問教會ハ神啓ノ教道ヲ其未識ラザルノ人々ニ宣告スルニ

當リ此教道ノ真ニ神ノ言タル何ヲ以テ表示スルヤ  
答此表示乃チ左ノ如シ

此教道ノ高尙ニシテ人智ノ能ク想出ス可キ者ニ非ルヲ  
證ス一ナリ

此教道ノ潔淨ニシテ神ノ純清ノ智ヨリ出タルヲ示スニ  
ナリ

預言三ナリ

奇跡四ナリ

此教道ノ人心ヲ感動スル勢力ノ至大ニシテ其功用ハ唯  
神ノ全能力ニ適ス五ナリ

問預言ハ如何シテ神ノ真啓ノ表示タルヲ得ルヤ

答例ヲ擧テ之ヲ説明サンニ預言者イサイヤ救主ハリスト

スノ處女ヨリ生ル、ト預言ス是レ固ヨリ天資人智ノ  
憶測スルモ能セザル所ナリ而シテ此預言以後數百年ヲ經  
テ我主イイススハリストスハ實ニ至聖處女マリヤヨリ  
生マル是ニ於テ預言ハ乃チ全知ナル神ノ言ニシテ此預  
言ノ應驗セシハ全能ナル神ノ異能ナルヲ觀ザルヲ得ズ  
故ニ聖福音者マトウエイモハリストスノ誕生ヲ傳説スル  
ニイサイヤノ預言ヲ引用シテ曰ク「凡ソ此事成ルヲ得主  
預言者ニ托シテ言フ所ニ應ズルヲ致ス云ク視ヨヤ一處  
女アリ將ニ懷孕シテ子ヲ生マントス人必ス其名ヲ稱シ  
テエムマヌイカト曰ハン譯スレバ則チ神我等ト偕ニス

(マトウエイ  
ノサトフエイ  
ニサニニ)

問奇跡トハ何ゾヤ



答人ノ能力技術ノ以テ爲ス能ハザル所ニシテ乃チ唯神ノ  
全能力ノミ能スル所ノ爲チ云フ例ヘバ死者チ復活スル  
カ如シ

問奇跡ハ如何シテ神ノ眞言ノ表示タルヤ

答眞成ノ奇跡チ行フ者ハ必ズ神ノ能力ニ藉ラザルハナシ  
隨テ奇跡チ行フ者ハ神ニ悅バレ聖神ニ體合スルヲ瞭カ  
ナリ而シテ是ノ若キ人唯純乎タル眞理ヲ言フハ素ヨリ適  
然ノ事ナルカ故ニ若シ神ノ名ヲ以テ言ヒダラシムコトハ則  
チ神ノ言此人ニ托シテ宣ベラル、ヤ疑チ容レザルナリ  
是故ニ我主イエスキリストス自ラ奇跡チ指示シテ其  
神ヨリ遣サレタルノ一大證明ト爲ス曰ク「父我ニ賜ヒテ  
以テ之チ成ス所ノ事即チ我行フ所ノ事ハ我カ爲ニ父ノ

我チ遣ハセシヲ證スルナリ(イナア五ノ三十六)

問由テ見ルチ得ルヤ  
答貧困無學微賤ノ人ヨリ擇取セラレシ十二使徒此教道チ

以テ有力者智者富者王者及ヒ邦國ヲ制服シテハリスト  
スニ從ハシメタルヲ以テ見ルベシ

○訓蒙ノ纂成

問敬虔ノ訓蒙教チ正ク纂成スルニ何チ做ス可キヤ

答是チ纂成スルニハ正東教ノ總主教ニ由テ許可セラレタ  
ル正教宗門ノ書ニ倣ヒ現世ニ在テ凡ソハリステイアコン  
ノ職分ハ則チ信望愛ノ三者ナリト云ヘル使徒パウロノ  
訓言チ以テ基礎トス可シ

「今ヤ信望愛此三者存ス」(コリント前書)

是ニ因テ「ハリスティアニ」ニ切要ノ教左ノ如シ  
第一ニ神及ヒ神啓ノ機密ヲ信スルノ教  
第二ニ神ニ倚ルノ望及ヒ其ヲ堅牢ナラシムル方法ノ教  
第三ニ神ニ對シ及ヒ凡ソ神命ニ依テ愛セザルベカラザル者ニ對スル愛ノ教

問 教會ハ何ノ方法ヲ以テ我等ヲ信ノ教ニ指導スルヤ

答 信經ヲ以テス

問 望ノ教ヲ爲シハ何ヲ指導ト爲ス可キヤ

答 主ノ幸福ノ訓言及ヒ主ノ祈禱ナリ

問 愛ノ初學ノ教ヲ何處ニ看得可キヤ

答 神律ニ於テス

正教訓蒙卷之一

○信ヲ論ス

○總信經并ニ其生出ノ事

問 信經トハ何ゾヤ

答 信經ハ乃チ辭簡約ナリト雖モ然レモ意精確ナルノ言ヲ

以テ「ハリスティアニ」ノ信ス可キ事ヲ論述タル教ヲ云

フ

問 然ラバ何ノ言ヲ以テ此教ヲ論述セシヤ

答 左ノ如シ

一條我信ス唯一ノ神カミチ、父、全能者天地及ヒ凡ソ可見ト不可見物ノ造成主ヲ  
二條又信ス唯一ノ主キリスト、神カミチノ獨生ノ子

諸世ノ先ニ父ヨリ生レ光ヨリ眞神ヨリ眞神生レテ造  
 ラル、ニ非ズ父ト一体ナリ萬物彼レニ由テ成リシヲ  
 三條我等ノ爲メ又我等ノ救ノ爲ニ天ヨリ降リ聖神ト  
 處女マリヤヨリ人体ヲ取り人ト爲リシヲ  
 四條我等ノ爲ニポンテイビラトノ時十字架ニ釘セラレ  
 苦ヲ受ケ且葬ラレシヲ  
 五條第三日ニ於テ書ニ録スル所ノ如ク復活セシヲ  
 六條天ニ昇リ父ノ右ニ坐スルヲ  
 七條光榮ヲ以テ生者ト死者ヲ審判スルニ復タ來ラン其  
 國終リナカラシムルヲ  
 八條我レ信ズ聖神生ヲ施スノ主父ヨリ出テ父及ヒ子ト  
 共ニ崇拜讃揚セラル預言者ヲ以テ嘗テ言ヒシヲ

九條我信ズ唯一聖ナル公ナル使徒ノ教會ヲ  
 十條我認ム唯一ノ洗禮以テ罪ノ赦ナルヲ  
 十一條我望ム死者ノ復活ヲ  
 十二條及ヒ來世ノ生命ヲアモシ  
 問信教ヲ斯ク論述セシ者ハ誰ゾヤ  
 答第一第二全地公會ノ諸教父ナリ  
 問全地公會トハ何ゾヤ  
 答「ハリストイアニシ」ノ間ニ眞實ノ教ト秩序ヲ堅メンガ爲ニ  
 成ルベキ丈ケ普天下中ヨリ來會スル所ノハリストス公  
 教會ノ牧師及ヒ教師ノ集合ナリ  
 問全地公會ヲ招集セシ幾次ゾ  
 答七回即チ

一ニケヤノ公會

二コンスタンティノボルノ公會

三エフェソノ公會

四ハルキドンノ公會

五コンスタンティノボルノ第二公會

六コンスタンティノボルノ第三公會

七ニケヤノ第二公會

問公會ヲ招集スルノ規則何ヨリ採レルヤ

答使徒イエエルサリマニ公會ヲ開キシヲ以テ龜鑑トス(十行五)

(章ヲ見)亦是カ基本ト爲ス所ハイイススハリストスノ訓

言ナリトイイスス自ヲ緊要ノ事ヲ教會ノ裁定ニ委託シテ

謂ラク教會ニ聽カザル者ハ思慮ヲ失ヒ異邦人ノ如ク然

ハベシト而シテ全教會自己ノ裁定ヲ言出スノ方法ハ乃チ

全地公會ト稱スル者是ナリ

「會ニ告ヨ若シ會ニ聽ザレハ爾等則チ之ヲ視ル」異邦人

ト稅吏ノ如クセヨ(ハトフイ十)

問信經ヲ纂成セシ第一第二全地公會ハ何等ノ爲ニ招集セ

ラレシヤ

答第一全地公會ハ乃チ神ノ子ヲ不敬ニ思想セシアリイノ

偽教ヲ駁シ以テ神ノ子ノ眞教ヲ堅メンカ爲ナリ

第二全地公會ハ乃チ聖神ヲ不敬ニ思想セシマケドニイ

ノ偽教ヲ駁シ以テ聖神ノ眞教ヲ堅メンカ爲ナリ

問此公會ヲ開キシハ今ヲ去ル如何

答第一公會ハハリストス降生以後三百二十五年第二公會

三百八十一年ナリ  
○信經ノ條款

問 公信經ヲ詳明セシメテ如何シテ可ナルヤ

答 是ヲ十二條ニ區分シ而シテ其每一條ヲ熟觀スヘシ

問 信經ノ每一條ニ言フ所ハ何ゾヤ

答 第一條ハ首トシテ神殊ニ聖三者ノ第一位即チ神父世界

ノ造成主タル神ノ事

第二條ハ聖三者ノ第二位即チ神子イイススハ

スノ事

第三條ハ神ノ子人体ヲ取リシ事

第四條ハイイススハ苦難及ヒ死ノ事

第五條ハイイススハ復活ノ事

第六條ハイイススハリフトスノ昇天ノ事

第七條ハイイススハリフトスノ地上ニ再臨ノ事

第八條ハ聖三者ノ第三位即チ聖神ノ事

第九條ハ教會ノ事

第十條ハ洗禮ノ事茲ニ亦他ノ諸機密ヲ含有ス

第十一條ハ死者ノ將來ノ復活ノ事

第十二條ハ永遠無疆ノ生命ノ事

○第一條

問 神ヲ信ストハ何ゾヤ

答 神ヲ信ストハ神ノ存在ト其本性ト其功用ヲ活信ニ專心

以テ神ノ啓示セシ人類救贖ノ言ヲ受クルノ謂ナリ

問 神ヲ信スルノ斯ノ如クナルベキ聖書ニ之ヲ示シ得ルヤ

答使徒パウエル書ス曰ク「信ナクバ即チ神ニ悦バル、能ハス  
 蓋シ神ニ就ク者ハ必ス其有テ信シ且其必ス凡ソ之ニ求  
 ムル者ヲ賞スルヲ信スベシ」(エフエス三ノ  
 十一ノ六イ)  
 使徒信ノ功用ヲ「ハリスティアニ」ノ爲メニ神ニ祈禱スル  
 ノ文ニ像ルアリ曰ク「求ム彼レ其榮ノ富有ニ循テ爾等ノ  
 中心ニ賜ヒ其聖神ヲ以テシテ甚タ剛健ヲ得又ハリスト  
 ス」(エフエス三ノ  
 十六十七)  
 問神ヲ熱心ニ信スルニ於テ首トシテ必ス顯出スベキノ效  
 驗ハ何ソヤ  
 答此信ヲ表認スル事ナリ  
 問信ヲ表認ストハ何ノ意アヤ  
 答我等正教ヲ遵奉スルヲ公然ト認メ且之ニ加ルコト眞實無

妄堅忍不拔ノ志ヲ以テ誘惑ニ陥ルナク威赫ヲ畏レ苦  
 痛ヲ意トヒス死ヲ辭セスシテ眞神即チ我主イエスハ  
 リストズヲ信スルノ心ヲ絶タザルヲ云フナリ  
 問何爲信ヲ表認スルハ必要ナルヤ  
 答使徒パウエル表認ハ救贖ノ爲ニ缺クベカラザルヲ證ス曰  
 ク「人心ニ信スルヲ以テ義ト稱セラル、ヲ致シ口ニ認ム  
 ルヲ以テ救ヲ得ルヲ致ス」(ロマノ  
 十)  
 問何爲救ヲ得ルニハ唯正教ヲ信スルノミナラズ亦之ヲ表  
 認スルヲ必要トスルヤ  
 答蓋シ若シ人此世ノ生命或ハ世利ヲ保タシカ爲メ正教ヲ  
 表認スルヲ諱マバ乃チ神救主及ヒ將來福樂ノ生命ヲ  
 眞ニ信ゼシコト非ルヤ得テ知ルベシ

問信經ニ單ニ神ヲ信スト云ハズ之ニ加ルニ「唯一ノ神」ノ語

ヲ以テスルハ何故シヤ  
答造物ヲ立テ神トシテ之ヲ崇敬シ自ラ以テ神ハ許多ナリ

トセル異邦人ノ偽教ヲ拒絕スルカ爲メナリ  
問神ノ唯一ヲ聖書ハ如何ニ誨ユルヤ

答信經ニ載スル所ノ文ハ使徒パウエルノ訓言ヨリ採レル者  
ナリ曰ク「神ハ唯一他ナシ所謂神或ハ天ニアリ或ハ地ニ

アリ多神多主アルカ如シト雖ヒ然ルニ我等ニ於テハ唯  
一ノ神アリ即チ父ナリ萬物之レヨリス我等之ニ歸ス又

主アリ即チイエススハリストスナリ万物之ニ由リ我等  
モ亦之ニ由ル(コリント前書  
ハノ四五六)

問神ノ本体ハ識リ得ベキヤ  
答能ハズ是レ獨リ人間ノミナラズ天使ノ識悟モ尙ホ識リ

得ル所ニ非ズ  
問此事聖書如何ニ云ルヤ

答使徒パウエル曰ク「神ハ近クシテ得ザルノ光ニ居ル即チ人  
未見ザル所且見ル能ハザル者ナリ」(テモフエイ前書  
六ノ十六)

問吾人神ノ啓示ニ由リ其本体ト其本性ヲ悟リ得ベキ所ノ  
モノハ何ゾヤ

答神ハ乃チ神永遠純善全知至義全能所不在ナキ變易ナキ  
不足ナキ萬福ノ者ナリ

問是レ皆聖書ヲ以テ證示スルヤ  
答イエススハリストス自ラ曰ク「神ハ乃チ神ナリ」(イノサア四  
ノ廿四)  
パウロ神ノ永遠ヲ謂テ曰ク「山未生セズ爾チ未地ト全世

界ヲ造ラザルノ先キ世ヨリ世マテモ爾チハ神ナリ(詩八十三)

默示録ニ神ヲ讚揚スルノ言アリ曰ク「聖哉聖哉聖哉主神全能者昔アリ今アリ後アル者ヤ」(黙示録四ノ八)

使徒パウエル曰ク「福音ハ永遠ノ神ノ旨ニ依テ宣ベラル」(ロマ十四ノ二)

イエススハリストス自ラ神ノ純善ヲ謂テ曰ク「神ヨリ外ニ一ノ善ナル者ナシ」(マコ十ノ七)

使徒イサアソ曰ク「神ハ乃チ愛ナリ」(イサアソノ一)

マウイド頌歌シテ曰ク「主ハ宏慈コシテ矜恤寛忍ニシテ鴻恩ナリ主ハ悉クノ者ニ仁慈ナリ其ノ宏慈ハ其ノ悉クノ作爲ニコアリ」(詩百四十四ノ一)

使徒イサアソ神ノ全知ヲ謂テ曰ク「神ハ乃チ我心ヨリ大ナリ知ラザル所ナシ」(イサアソノ二)

使徒パウエル稱讚シテ曰ク「深哉神ノ富ト知ト識ヤ不可測哉其審判ヤ不可索哉其踪跡ヤ」(ロマ十一ノ三)

ダウイド神ノ公義ヲ歌フテ曰ク「主ハ義ニシテ義ヲ愛シ其顔ハ義人ヲ視ル」(詩七十一ノ一)

使徒パウエル曰ク「神將ニ各人ノ行フ所ニ循テ各人ニ報ヒントスト又曰ク神人ヲ偏視ヒズト」(ロマ二ノ六)

聖詠者神ノ全能ヲ謂テ曰ク「彼レ言ヘバ則チ成リ命スレバ則チ顯レタリ」(詩九十三ノ一)

福音書ニ天使長曰ク「神ニ在テ能ハザル所ナシ」(マルカ一ノ二)



神ヲ避クルヤ安クニ走リテ爾ノ顔ヲ逃ル、ヤ天ニ昇ラ  
 ンカ爾則チ彼處ニアリ地獄ニ下ランカ爾亦彼處ニアリ  
 我レ曉ノ翼ヲ取リテ海ノ極ニ移ランカ彼處ニモ爾ノ手  
 我ヲ導キ爾ノ右手我ヲ援ケン或ハ闇冥我ヲ隠シシ我ヲ  
 環ルノ光、夜トナラント云ハンカ然レモ闇冥モ爾ノ前ニ  
 暗カラシメザラン夜モ明ナルヲ晝ノ如ク闇冥ハ光ノ如  
 シ（詩篇百三十八ノ七以下）  
 使徒イアコフ書ス曰ク「光明ノ父ニハ變易ナク晷影ノ移  
 ナシト（一イアコフ）  
 使徒パウエル曰ク「神ハ人手ノ事フル所タラズ猶ホ之レ需  
 ムル所有ル者ノ如クナランヤ彼レハ生命ト呼吸ト萬物  
 ナ以テ衆ニ予フ（ノ行廿五十七）

彼レ亦神ヲ稱シテ「有福獨一ノ秉權者諸王ノ王諸主ノ主」

トス（テイモフエイ前  
 書六ノ十五）

問若シ神ハ神ナラバ聖書ニ其肢体例ヘハ心目耳手ノ如キ  
 フ記載スルハ何ゾヤ

答聖書ハ此事人間通常ノ言語ニ應シテ書シタル者ナレバ  
 宜シク深奥高尚ノ意ヲ以テ解セザルベカラス例ヘハ神  
 ノ心トハ神ノ純善或ハ愛ヲ示シ目耳ハ全知ヲ示シ手ハ  
 全能ヲ示スナリ

問若シ神ハ所不在ナキナラバ神ハ天ニアリ或ハ聖殿ニア  
 リト云フハ何ゾヤ

答神在ラザル所ナシ然ルニ天ハ其特別ノ在處ナリ神是ニ  
 於テ永遠ノ光榮ヲ以テ有福ノ諸靈ニ現顯ス聖殿亦其特

別ノ在處ナリ神ハ恩寵ニ因リ奧妙秘密ニシテ茲ニ存在  
シ信者ノ敬畏尊崇スル所トナリ或ハ時トシテ茲ニ特別  
ノ徴ヲ以テ顯ル、トアリ

イイススハリストス曰ク「何處ヲ論スルナク二三ノ人我カ  
名ノ爲ニシテ集ルアラバ我亦其中ニ在ラン」(マコトノセイ)

問信經ニ「我信ズ唯一ノ神父」ト云ル語ハ如何ニ了解ス可キヤ  
答是ヲ了解セント欲セバ宜ク聖三者ノ奧義ニ説及セザル  
ベカラズ蓋シ神ハ本体ニ依ルニ一、位ニ依ルニ三、父ト子  
及ヒ聖神一體ニシテ分レザル三者ナリ

問聖書ニ聖三者ノ事ヲ如何ニ言ルヤ  
答新約中最緊重ノ訓言ニ曰ク「爾等往キテ萬民ヲ誨ヒ父ト  
子ト聖神ノ名ニ由テ之ニ洗禮ヲ施セ」(マコトノセイ)

「天ニ在テ證ヲ作ス者三、父ナリ言ナリ聖神ナリ此三者ハ  
乃チ一ナリ」(イコナセ)

問舊約中亦聖三者ノ事ヲ言ハル、ヤ  
答言ハレタリ但シ其意明瞭ナルニ非ス例ヘバ曰ク

「夫レ天ハ主ノ言ニテ造ラレ天ノ全軍ハ其口ノ氣ニテ造  
ラレタリ」(詩篇三十)

「聖哉聖哉聖哉主サリオラ全地ハ其榮光ヲ以テ充滿ス」  
(イサヤ)

問唯一ノ神如何シテ三位ナルヤ  
答我等ハ此神性ノ深妙ナル奧義ヲ曉ルヲ得ズ然レモ唯神  
ノ言ノ萬世不易ナル證據ニ頼リ以テ之ヲ信スルナリ曰  
ク「神ノ情ハ神ノ神ヨリ外亦能ク之ヲ知ル者ナシ」(コリ

問 聖三者ノ位ハ何ヲ以テ相差別スルヤ

答 神父ハ他位ヨリ生ル、ニ非ズ又他位ヨリ出ルニ非ズ神

ノ子ハ永遠ニ父ヨリ生マル聖神ハ永遠ニ父ヨリ出ルナ

問 至聖三者ノ位ハ各々同等ノ品位ヲ有スルヤ

答 至聖三者ノ神ノ品位ヲ有ス父ハ眞神ナルカ如ク子モ亦

眞神ナリ聖神モ亦眞神ナリ然レモコノ三位ニ於テ唯三

位ノ一神アルノミ

問 何爲神ヲ全能者ト稱スルヤ

答 蓋シ所有萬物ヲ其能力ト其意旨トヲ以テ保持スレバナ

リ

問 信經ニ「天地及ヒ凡ソ可見ト不可見物ノ造成主」ト云ルノ

言ハ何ヲ象示スルヤ

答 萬物皆神ニ由テ造ラレ而シテ神ニ頼ラズンバ一物モ能ク

保存スルナキヲ謂フナリ

問 此語聖書ノ中ヨリ探リシヤ

答 然リ創世記ハ「元始ノ時神天地ヲ創造ス」ト云ル語ヲ以テ

始ルナリ

使徒パウエル神ノ子イエススハリストスノ事ヲ謂フテ曰

ク「萬物彼レヲ以テ造テ受ク天ニアリ地ニアリ可見ト不

可見或ハ寶座或ハ主制或ハ首領或ハ權柄萬物彼レニ由

リ且彼レノ爲ニ造テ受ク」(コロ<sub>ス</sub>二)

問 信經ニ「不可見物」ト云ルハ何ヲ謂フヤ

答 天使ノ附属スル所ノ不可見ノ世界即チ神靈世界ヲ云フ

ナリ

問 天使トハ何ゾヤ

答 知慧意旨及ヒ能力ヲ賦與セラルル無軀ノ神靈ヲ云フ

ナリ

問 アンゲルノ稱何意ゾヤ

答 譯スレバ即チ報信者ナリ

問 何爲斯々彼等ヲ稱スルヤ

答 蓋シ神其旨ヲ報スルニ彼等ヲ遣スチ以テナリ例ヘハガ

ウチオキル人至聖處女マリア

ニ遣サレタル如キ是ナリ

問 可見物ト不可見物ト孰ヒカ先チ造テレゾヤ

答 不可見物ハ可見物ニ先チ造ラレ天使ハ人間ニ先チ造ラ  
 レタリ(正教宗門第一卷十八問答)

問 此證チ聖書ニ於テ看得ルヤ

答 イチフ記ニ神自ラ地ノ創造ヲ云ル左ノ如シ「其隅石誰カ  
 之ヲ置キシヤ當時晨星咸歌ヒ神ノ諸子悉ク歡呼ス」(イチ  
 六七八)

問 守護天使ナル稱ハ何ヨリ採リシヤ

答 聖書ヨリ取レリ曰ク「彼レ爾ノ事ヲ己ノ使ニ命シテ凡ソ  
 爾ノ路ニ爾ヲ護ラシ」(詩篇九十  
 一)

問 我等各人ノ爲ニ守護天使ナルモノヲ設ケラル、ヤ

答 勿論設ラル、ナリ是信證スルヤ則チイエススハリスト  
 スノ言ナリ曰ク「爾等慎ンテ此小子ノ一チ輕視スルコト勿

レ蓋シ我レ爾等語ヲシ彼等ノ使天ニ在テ常ニ我カ天  
父ノ顔ヲ見ルナリ（一ノハトフエイ）

問天使ハ総テ善良美德ヲ彰ヤ

答然ラズ惡キル天使アリ別名デアウタルト稱ス

問彼等何ヲ以テ惡トナリシヤ

答彼等ノ造ラルル專ラ美善ナリト雖モ然レモ神ニ全ク順

從テ可キノ職分ヲ破リテ遠ク神ヲ離レ自愛傲慢及ヒ怨

恨ニ沈淪スルニ至リシナリ

使徒イウマリ訓言ニ依ルニ是レ乃チ其本職ヲ守ラズシ

テ其所ヲ離ルルノ天使ナリ（六イウダ）

問デアウタルト云ルハ何ツヤ

答譯スレバ譏誣者或ハ誘惑者ノ義ナリ

問何爲惡ナル天使デアウタル即チ譏誣者或ハ誘惑者ト稱

スルヤ

答蓋シ常ニ姦計ヲ以テ人々ヲ誑カシ之ヲ引誘シテ以テ邪

意惡望ヲ吸入セシメント焦慮苦思スレハ

デアウタルト云フ不信ノイウデアウ人ニ向テ曰ク爾等

ハ爾等ノ父魔鬼ニ屬ス且爾等必ス爾等ノ父ニ怨ヲ行フ

彼レ始ヨリ殺人者ナリ又真理ヲ存セス真理其衷ニナク

レバナリ彼レ誑ヲ言フ時乃チ己ニ屬スル者ヲ言フ彼レ

誑者ナリ且誑ヲ父タルナリ（一ノイナアンハ）

問聖書我等ハ世界創造ヲ明スル如何ニ

答神元始ノ時無限リ天地ヲ造リ地ハ混沌空虚ナリ而シテ神

第一日ニ世界ノ光  
 第二日ニ穹蒼即チ可見ツ天  
 第三日ニ地上ノ水溜所及ヒ陸地并ニ草木  
 第四日ニ日月星辰  
 第五日ニ魚鳥  
 第六日ニ陸地ニ住スル所ノ四足獸及ヒ人間ヲ造レリ創  
 造ノ工人間ヲ造ルヲ以テ初テ歎ル而シテ第七日ニ至テ神  
 凡ソ其工作ヲ停息シテ是ヨリシテ第七日ヲ以テ「又  
 又」ト稱ス「スホマ」ニウレ「ノ語譯スレバ安息ト云ル義  
 ナリ」(創世記ニ)  
 問可見物ハ現今我等ノ目撃スルカ如クニ造ラレシヤ  
 答然ラズ創造ノ時ハ萬物至極美善ナリ即チ潔白美麗無害

ニ係ル

問人間ヲ創造スルニ於テ特ニ著明ノ事アラヌヤ  
 答聖三者ノ神相談シテ曰ク「我等宜シク人ヲ我等ノ像ト肖  
 トニ依テ造ルベシ」(創世記一)而シテ神初人アダムノ体ヲ造  
 ルニ土ヲ以テシ其面ニ生氣ヲ嘘ス然ル後チアダムヲ樂  
 堂ニ置キ樂堂ニアル諸凡ノ菓實ノ外ニ生命樹ノ菓實ヲ  
 賜ヒテ之カ食物ト爲セリ終ニアダムノ寢ヌル其脇ヲ  
 取リ初女エワヲ造成ス(創世記二)  
 問神ノ像トハ則チ何等ノ事ヲ云フヤ  
 答神ノ像トハ則チ使徒(パウロ)ノ講明スルカ如ク「眞理ノ義  
 ト潔」ヲ指シテ云フナリ(エフェソ四)  
 問生氣トハ何シヤ

答 靈魂即チ神靈不死ノ本體ヲ云フナリ

問 樂堂ト云何ゾヤ

答 樂堂ト云ハ園ノ義ナリ初人ノ住居セシ美麗幸福ノ居所創  
世記ニ所謂園ト書スル者ヲ指シテ斯ク稱スルナリ

問 初人ノ住居セシ樂堂ハ物體ナリシヤ抑モ無形ナリシヤ

答 身體ノ爲ニハ物體ニシテ有形福樂ノ居所タリ又靈魂ノ  
爲ニハ無形ニシテ恩寵ニ由リ神ト親シク相交通シ而シ

心靈以テ万物ヲ觀察スルノ地位タルナリ神學者アリニ  
イ三十八ノ談

四十二ニテマスコノ神學者イ  
チアソニ書十二章三節參考

問 生命樹ト云何ゾヤ

答 人其菓實ニ由テ生育セハ身體是カ爲メ無病不死ナルベ  
キノ樹ナリ

問 何爲ニシテ造ルニアダムノ脇チ以テセシヤ

答 全人類其生出ニ於テ一身體ニ歸スルヲ致スカ爲メ又人  
々是ニ由テ天然自然互ニ相愛シ相護スルノ性情アルヲ

致スカ爲ナリ

問 神ハ何ノ趣意チ以テ人ヲ造リシヤ

答 人ヲシテ神ヲ識リ之ヲ愛シ之ヲ讚美シ以テ無究ノ世ニ  
幸福ヲ受ケシムルノ趣意チ以テセリ

問 神人ヲ永遠ノ幸福ニ定メタル旨意チ宗教上ニ於テ特ニ

名稱チ命セザルヤ

答 神ノ預定ト稱スル者ハ人ノ生活ニ於テ非ルカ如  
問 現今我等人ノ生活上ニ目撃スルニ人無有福ニ非ルカ如

シ然ラバ神人ヲ幸福ニ預定シタルヲ變易セシニアラズ

答 變易セザルナリ蓋シ神ハ其前知及ヒ無限ノ仁慈ヲ以テ  
 既ニ幸福ノ道ニ遠ザカリシ人ノ爲メニ獨生ノ子イイス  
 スハリストスヲ遣ハシ以テ幸福ニ達スルノ新道ヲ啓開  
 スルヲ預定シタルハナリ  
 使徒パウエル云フ創世ノ先ヨリ我等チイイススハリスト  
 スニ簡ベリト(エフエス四)  
 問 神ノ預定ノ總衆人ニ關シ又各箇人ニ關スル所以ハ如何  
 答 神ハ衆ニ豫メ備フル所ノ恩寵及ヒ幸福ヲ獲セシムルニ  
 確カナルノ方法ヲ賜フヲ預定シ而シテ實ニ之ヲ賜ヘリ然  
 ルニ獨リ自由ニシテ神賦ノ恩寵ヲ受ケ其授クル所ノ救  
 ナ得ルノ方法ヲ用ヒ其指示セシ福道ヲ行ク者ハ則チ神

ノ幸福ニ預定セシ所ノモノナリ  
 問 此事ヲ聖書如何ニ言ルヤ  
 答 神預知スル所則チ之ヲ預定ス(ロマ九)  
 問 此事ヲ正教會如何ニ講明スルヤ  
 答 東總主教ノ信ノ講明ニ曰ク神己ニ一ハ善ニ自己ノ自由  
 ノ旨意ヲ用ヒ一ハ惡ニ用エノヲ預知セシカ故ニ一チ  
 己ニ榮光ニ預定シ一チ己ニ罪ニ定ム(三條)  
 問 世界及ヒ人間ノ創造以來間斷ナク神直接ニ世界ニ關シ  
 特ニ人間ニ關シテ永ク功用スル所ノ者ハ何ツヤ  
 答 神ノ照管  
 問 神ノ照管トハ何ツヤ  
 答 神ノ照管トハ神ノ全能靈智及ヒ恩寵ノ間斷ナク働作ス



ル所ノ功用ナリ神ハ是ヲ以テ造物ノ生存ト能力ヲ保護  
 シ之ヲシテ善美ノ正鵠ニ向ハシメ諸善ニ幫助シ及ヒ善  
 ニ遠サカレニ由テ興起スル所ノ惡ヲ截斷シ或ハ改正シ  
 テ良善ノ結菓ニ歸ゼシムルナリ

問神ノ照管ヲ聖書如何ニ言ルヤ

答 イイヌスハリストス自ラ曰ク試ニ天空ノ鳥ヲ視ヨ彼レ  
 稼セズ穡セズ倉ニ積マズ然ルニ爾等ノ天父之ヲ養フ爾  
 等ハ鳥ヨリ甚ダ貴キニ非スヤト(マハトサフエ)此訓言ヲ以テ  
 視ルニ神ハ総体造物ノ爲ニ照管シ又特ニ人間ノ爲ニ照  
 管スルコト章々ナリ

九十ノ詩篇ハ皆神ノ人間ノ爲メニ照管スル所ノ特別多  
 方ナルヲ像ルナリ

○第二條

問 イイヌスハリストス神ノ子ト云ルハ何意ヲ示スヤ

答 神ノ子ト稱スルハ其神性ニ由テ聖三者ノ第二位ヲ云フ  
 ナリ此神ノ子人ト云テ地上ニ生マレシ時之ヲ稱シテイ  
 イヌスト云ヒ又昔預言者ガ彼レノ地上ニ親臨セラレハ  
 待望セシ時之ヲ稱シテハリストト云ヘリ

問 イイヌスト云ルハ何意ヲヤ

答 救世主

問 イイヌスナル稱ハ誰ニ由テ命セラレシヤ

答 天使ガウリイルニ由ル

問 神ノ子地上ニ生マレシ時此稱ヲ命セシハ何故ゾヤ

答 蓋シ人々ヲ救フガ爲ニ生レタレバナリ

問ハリストスト云ルハ何意ゾヤ

答被膏者

問被膏者ノ稱ハ何ヨリシテ出来リシヤ

答聖油ヲ塗膏シテ以テ聖神ノ恩賜ヲ賦與スルニ由ル

問獨リイイススハリストス神ノ子ノミ被膏者ト稱スルヤ

答然ラズ往昔帝王司祭長預言者ヲ稱シテ被膏者ト云ヘリ

問何爲イイスス神ノ子ヲ被膏者ト稱スルヤ

答蓋シ其人性タル聖神ノ恩賜盡シ感通充滿セザルナシ而

シ預言者ノ明悟、司祭長ノ聖、帝王ノ能力減ク之ニ屬セザ

ルナシ

問イイススハリストス主ト稱スルハ何ノ意ヲ以テスル

ヤ

答彼レハ乃チ眞神タルノ意ヲ以テス蓋シ主ノ稱呼ハ神名

ノ一ツナリ

問聖書ニイイススハリストス神ノ子ノ神性ヲ如何ニ言ル

ヤ

答「元始言アリ言ハ神ト僭ヒス言ハ則チ神ナリ」(イノアン)

問何爲イイススハリストス神ノ「獨生ノ子」ト稱スルヤ

答此稱ヲ以テ彼レ唯獨リ神父ノ本體ヨリ生シタル神ノ子

ト稱スルニ由ル

「神父ト同一ノ本體タルヲ示スナリ是故ニ恩寵ニ由

リテ神ノ子ト稱スル諸聖天使及ヒ諸聖人ニ卓越スルト

萬々比ナシ」(イノアン)

問聖書ニイイススハリストス獨生ノ子ト稱スルヤ

答稱ス例ハ福音者イノアンノ訓言ニ曰ク「夫レ言ハ肉身

成テ我等ノ間ニ居リ我等其榮ヲ見ル猶ホ天父獨生ノ  
子ノ榮ノ如シ恩寵ヲ以テ眞理ヲ以テ充滿ス（イノチア四）從  
ヨリ未タ人神ヲ見ルアラズ唯ク獨生ノ子父ノ懷ニ在ル  
者曾テ之ヲ彰明ス（八十）

問信經ニ亦神ノ子父ヨリ生マレシト言フハ何爲ヅヤ  
答是レヲ以テイイスス一箇ノ性ノ聖三者ノ他位ト異ル所  
以テ示ス

問神ノ子諸世ノ先ニ生マレシト言フハ何ヅヤ  
答神ノ子存在セザリシ時アリト誤想スル者ナカラシカ爲  
ナリ別ニ云ヘハ神父永遠ナルカ如クイイススハリスト  
スモ亦永遠ノ神ノ子ナルヲ示スナリ

問信經ニ「光ヨリ光」ト云ルハ何意ヅヤ

答是レ有形ノ光ノ比喻ヲ以テ神ノ子父ヨリ不可思議ニシ  
テ生出シタルヲ僅ニ講明スルナリ我等仰テ太陽ヲ視レ  
ハ則チ茲ニ光ヲ見ル而シテ此光ヨリシテ宇宙間ニ見ラル  
ベキノ光生出ス然レモ彼此二者同質ニシ且相分レザル  
唯一ノ光タリ斯ノ如ク神父ハ永遠ノ光（イノチア五）是ヨ  
リシテ同シク永遠ノ光タレ神ノ子生出ス然レモ神父及  
ヒ神ノ子ハ唯一ノ神性ニシ相分レザル唯一永遠ノ光タ  
ルナリ

問信經ノ語ニ「眞神ヨリ眞神」ト云ルハ何意ヅヤ  
答神ノ子ヲ神ト稱スルハ猶ホ神父ヲ神ト稱スルト眞ニ同  
然ナルノ意ナリ

問此語聖書ヨリ採リシヤ

答然リ神學者イテアソソ訓言ヨリ採レリ曰ク「又知ル神ノ  
 子己ニ臨ミ我等ニ賜フコ光ト智トヲ以テシ我等ヲシテ  
 眞神ヲ識ラシム其眞子（イノミアン）ハリス（イノミアン）ニ在ラシメ  
 シカ爲ナリ此レ即チ眞神亦永生ナリ（イノミアン）」  
 問信經ニ又神ノ子生レテ造ラル、ニ非ズト添言スルハ何  
 ツヤ  
 答是レアソソイカ神ノ子造テ受ケタリト不敬ニ教誨シタル  
 ナリ駁撃セン爲メニ添言セルナリ  
 問父ト一体タリト云ルハ何意シヤ  
 答言テ易ヘテ云ヘハ神ノ子ニ神父ト同一ク神体タルノ謂  
 ナリ  
 問此事ヲ聖書如何云ルヤ

答「イノミアン」ハリストフ自ラ自己ト神父ノ事ヲ言ルアリ曰  
 シ「我レト我父一ナリ」ト（イノミアン）  
 問信經ニ「萬物彼レニ由テ成リ」ト云ルハ何ヲ示スヤ  
 答神父其永遠ノ靈智タリ及ヒ其永遠ノ言タル己ノ子ヲ以  
 テ萬物ヲ創造シタルヲ示ス  
 「萬物言ノ造ル所タル凡ソ受造ノ者彼レニ由テ造ラレザ  
 ルナシ」（イノミアン）  
 ○第三條  
 問信經ニ「天ヨリ降り」トアルハ何者ノ降臨セルヲ言フヤ  
 答神ノ子ノ降臨ナリ  
 問彼レ神トシテ在ラザル所ナシ然ルニ天ヨリ降ルトハ何  
 ツヤ

答實ニ彼レ在ラザル所ナシ故ニ常ニ天ニアリ又常ニ地ニ  
アリ然レ凡前ニ地ニ在天見ルヘカラサリシニ後チ肉身  
ヲ以テ顯現セリ茲ニ天ヨリ降ルト言フハ則チ此ヲ謂フ  
ナリ

問聖書ニ是事ヲ如何ニ言ルヤ

答イエスズハリストス自ラ云ヘルアリ曰ク「天ヨリシテ降

リ依然天ニ在ルノ人子ヨリ外曾テ天ニ昇ル者アルナシ

(イテア三  
三ノ十三)

問何爲天ヨリ降リシヤ

答信經ニ言ルカ如ク「我等々ノ爲メ又我等ノ救ノ爲ナリ

問神ノ子我等々ノ爲ニ天ヨリ降リシトハ何ノ意ヲ以テ  
言フヤ

答彼レ地ニ降ルハ一箇人民ノ爲メニ非ス又或數人ノ爲ニ

非ズ乃チ總体我等衆人ノ爲ニ降リタルノ意ヲ以テ言フ  
ナリ

問然ラバ神ノ子何ヨリ「人々ヲ救ハシカ爲ニ」地ニ來リシヤ

答罪、罪及ヒ死ヨリ

問罪トハ何ゾヤ

答法律ヲ犯ス是ナリ「罪ハ即チ犯法ナリ」(イテア四  
一ノ四)

問人ノ初テ創造セラレ、ヤ神ノ像ニ依ル而シテ神ハ罪ヲ犯

ス能ハズ人々ノ罪ノ由テ來ル所ハ何ニアルヤ

答惡魔ニ由ル

「罪ヲ行フ者惡魔ニ屬ス蓋シ惡魔始ヨリ罪ヲ犯ス」(イテア三  
一ノ三)

(ハ)

問罪如何シテ惡魔ヨリ人々ニ來リシヤ

答惡魔エツ及ヒアダムヲ誘ヒ神ノ誡命ヲ犯サシメタリ

問是レ何ノ誡命ゾヤ

答神樂堂ニ於テアダムヲ誡メ善惡ヲ識別スルノ樹菓ヲ食

フ勿ラシム且彼レニ謂テ曰ク是ヲ食フ則チ必ズ速ニ死

スニ至ラシト

問何爲人善惡ヲ識別スルノ菓ヲ食ヒ死スベクナリシヤ

答蓋シ禁誡ノ菓ヲ食スルハ業ニ已ニ神ノ旨ニ悖ル而シテ是

悖戻ノ罪タル人ヲシテ神ト其恩寵ヨリ離間シ神ノ生命

ヨリ遠ケシメタリ

問善惡ヲ識別スルノ樹ノ名目ト其趣意ト相應符合スルハ

否何ゾ

答其相應符合スル所以ハ乃チ人初テ此樹ニ由テ以テ神ノ旨ニ從順セバ結末如何ノ善ニ至リ又之ニ背戻セバ如何ノ惡ニ至ルヲ親ク經驗識得シタレバナリ

問アダムエツ如何シテ神ノ旨ニ悖リ惡魔ニ聽從スルヲ能セシヤ

答神其仁善ヲ以テ人ヲ創造スルヤ之ニ賦スルニ天然自然神ヲ愛スルニ向フノ意旨ヲ以テセリト雖凡然ルニ其意旨自由ナルカ故ニ人此自由ヲ惡ク用キタルナリ

問惡魔如何ニアダムエツヲ誘惑セシヤ

答エツ樂堂ニ在ル時蛇アリ彼女ニ説テ謂ラク人若シ善惡ヲ識別スルノ樹菓ヲ食ハバ則チ必ズ能ク善惡ヲ識リ神ノ如クナラントエツ此約許ヲ信シ又菓實ノ美麗ノ爲ニ

心志誘惑セシレテ遂ニ之ヲ食ヒテ  
 傲ヒ之ヲ食フ  
 問 アダムノ罪ニ由テ生シタルハ何ノ死グヤ  
 答 罪及ヒ死ナリ  
 問 罪トハ何グヤ  
 答 神其公義ナルノ審判ニ由テ罪ヲ裁定セシト人々罪ヲ  
 犯シタルニ由テ其處罰トシテ地上ニ生シタルノ災害是  
 ナリ  
 問 神アダムニ謂テ曰ク地ハ爾ニ縁テ詛ハル(創世記三)  
 間 アダムノ罪ニ由テ生シタルハ何ノ死グヤ  
 答 二様アリ一ハ形体ノ死ニシテ己ヲ活動セシム  
 ルノ靈魂ヲ失フ是ナリニハ心靈ノ死ニシテ靈魂ニ則チ高

上神妙ノ生命ヲ以テ己ヲ活動セシムルノ神恩ヲ失フ是  
 ナリ  
 問 靈魂亦身体ノ如ク死スルヲ得可キヤ  
 答 靈魂亦死スルニシテ雖モ身体ノ死ト異ナリ体ノ死スル感  
 情ヲ失シ腐壞敗滅ニ歸ス靈魂ノ罪ニ由テ死スルニシテ光  
 明喜悅及ヒ幸福ヲ失ス然レモ敗壞セズ又亡絶セズ唯永  
 シ幽暗愁痛及ヒ苦難ノ地位ニ存スルナリ  
 問 何爲死ハ獨リ初人ニ止ラズシテ亦衆人ニ及ベキヤ  
 答 蓋シ人皆罪ニ染浸シタルアダムヨリ生レ且自ラ亦罪ヲ  
 行フ譬ハ汚穢ノ源泉ヨリ汚穢ヲ流水自然ニ湧出ルカ如  
 シ罪ニ染浸シ隨テ死スベキノ原祖ヨリ罪ニ染浸シ隨テ  
 死スベキノ子孫自然ニ生出スルナリ

問 聖書ニ是事ヲ如何ニ言ルヤ

答 罪一人ニ由テ世ニ入り而シテ死、罪ニ由リシ如ク死モ亦凡人ニ及フヲ致ス人皆罪ヲ獲シテ以テナリ(ロマ十三)

問 生命ノ樹菓ハ罪ヲ犯セシ以來人ニ利益ヲ與ヒシヤ

答 罪ヲ犯セシ以來人は食フヲ得ザリキ蓋シ樂堂ヲ放逐セラレシナリ

問 時ニ人々救贖ヲ得ルノ希望ヲ存セシヤ

答 初人神前ニ痛ク自己ノ罪ヲ認メシニ際シ神其大仁慈ニ由テ救贖ヲ得ルノ希望ヲ賜ヘリ

問 此ニ希望トハ則チ何ゾヤ

答 神約スルニ「婦ノ裔蛇ノ頭ヲ撃ク」(創世記三)ヲ以テセ

問 是レ何意ゾヤ

答 イイススハリスト人々ヲ誘惑セシ惡魔ヲ敗リ罪、詛及ヒ死ヨリ人々ヲ贖フヲ示ス

問 何爲イイススハリストヲ「婦ノ裔」ト稱スルヤ

答 彼レ地上ニ生レシハ夫ナキノ至聖處女マリヤヨリ出ラシテ以テナリ

問 此許約ニ由テ何等ノ裨益生ヲ來リシヤ

答 此許約ノ起リテヨリ以來人々救ハル、様ニ將來ノ救主ヲ信スルヲ得タリ猶ホ我等既往ノ救主ヲ信スルカ如ク然リ

問 古昔ノ人民實ニ將來ノ救主ヲ信セシヤ

答 信セシ者多カラズ大半ノ人民神救主ヲ遣ハサント許約



セシヲ忘失セリ

問神此許約ヲ復諭セザリシヤ

答復諭セシテ數次例ヘバ神アウラムニ救主ヲ遣スノ許

約ヲ賜テ曰ク「天下萬國將ニ爾カ裔ニ由テ福ヲ獲ントス

(創世記二十)

後神亦ダウエドニ此許約ヲ復諭シテ曰ク「我必ス爾カ裔ヲ

以テ爾ノ後ニ立テシテ而シテ其位ヲ永ク堅ウセン」(第二列王記

六)

問「人体ヲ取ルト云ル言ハ何意シヤ

答神ノ子罪ヲ除クノ外己レニ人体ヲ取リ依然神トシテ人

ト爲リシノ意ナリ

問「人体ヲ取ルト云ルノ言何ヨリ採リシヤ

答福音者イチアンノ言ヨリ採レリ曰ク「言ハ肉身ト成ルト

(イチアノ十四)

問信經ニ神ノ子「人体ヲ取ルト云ヒ而後又「人ト爲リシト添

言スルハ何故ズヤ

答人ヲシテ神ノ子ハ唯肉身ノミヲ取リシト誤想セスシテ

肉身ト靈魂トヨリ成立セル完全ノ人ナルヲ認メシメン

カ爲ナリ

問是レ聖書ニ證スルヤ

答使徒パウエル書ス曰ク「神ト人トノ間中保亦一乃チ人ナリ

即チ「イエススハリストスナリ」(テイモフヨイ前

問此ニ由テ之ヲ觀レバ「イエススハリストス」ノ性唯一ナル

ヤ

答然ラズ其中ニ二性分レズ混セズ整然トシテ存ス即チ神性及ヒ人性ナリ是性ニ應シテ意旨亦ニアリ

問然ラハ位亦二ナラズヤ

答否一位ナリ即チ神ト人トノ結合ナリ要シテ之ヲ云ハバ神人ナリ

問聖神及ヒ處女マリヤヨリ神ノ子人体ヲ取リシチ聖書如何ニ言ルヤ

答福音者ルカ傳説スルニ處女マリヤ己レニイオニスノ懷妊ヲ豫報セシ天使ニ問テ曰ク「我レ未タ夫ヲ識ラズ何ニ由テ之ヲ得シ」ト時ニ天使之ニ答テ曰ク「聖神將ニ爾ニ臨マントス至上者ノ能將ニ爾ヲ庇蔭セントス是ヲ以テ生ム所ノ聖者將ニ神ノ子ト稱セラレントス」(ルカ一ノ三五)

問處女マリヤハ何人ゾヤ

答神ノ許約ニ由テ必ス適ニ救主ノ出シ可キノ族即チアウ

ラアム及ヒダウボノ族ノ出ニシテ其同族イナシラニ聘

シ以テ其看護ヲ受ケシ聖處女ナリ蓋シマリヤハ永久童

貞ヲ以テ終ラシヨチ誓ヒ神ニ獻セラレタルナリ

問至聖ナルマリヤハ實ニ永久處女タルヤ

答救主ヲ生ムノ前生ムノ時及ヒ生ミシ後モ處女ナリ故ニ

永久處女ト稱ス

問至聖處女マリヤヲ敬スルニ正教會亦何ノ尊號ヲ以テス

ルヤ

答生神女ノ号ヲ以テス

問此號ノ原由ハ聖書ニ示シ得ルヤ

答此號ハ預言者ハサイヤノ言ヨリ採レリ曰ク「視ヨヤーノ  
 處女アリ將ニ懷孕シテ子ヲ生ントス人必ス其名ヲ稱シ  
 テエムマヌイルト曰ハン譯スレバ神我等ト偕ニス」(イサヤ  
 十七ノ)  
 義婦エリサウエタ亦至聖處女ヲ主母ト稱ス此號ハ生神女  
 ノ号ト意義相同シキナリ  
 「我主ノ母余ニ臨メリ我レ何ニ由テ之ヲ得ル」(ルカ一ノ  
 三十四ノ)  
 問至聖處女ヲ生神女ト稱スルハ何等ノ意ヲ以テスルヤ  
 答假ヒイイススハリストスノ彼女ヨリ生マレシハ永遠ニ  
 存スルノ神性ニ由ルニ非ズシテ人性ニ由ルト雖モ宜シ  
 シ生神女ト稱スベシ蓋シ彼女ヨリ生レシ者ハ其胚胎及  
 ヒ生産ノ時共ニ恒存ノ眞神ナレハナリ

問至聖處女マリアノ品位ノ高上如何  
 答彼女ハ主ノ母ナルニ由テ固ヨリ恩寵ノ多キト神ニ親近  
 ナルトニ於テハ凡ソ受造ノ者ニ超越ス隨テ品位ノ高上  
 亦論チ俟ズシテ明ナリ故ニ正教會彼女ヲ貴シテヘルウ  
 ム及ヒセララムノ上ニ崇尊スルナリ  
 問至聖生神女ヨリイイススハリストスノ生レシ事ニ就キ  
 テ又何チカ見留ムベキヤ  
 答イイススノ誕生ハ全ク聖ニノ毫モ罪ニ干與セザルカ故  
 ニ亦苦痛艱難ヲ覺ヘザリキ蓋シ罪ヲ犯セシカ爲ニ其處  
 罰ノ一トシテ神エワニ「疾苦シテ子ヲ生ム」ト決定メシナ  
 リ(ダマスクノ神學者イサヤン  
 四書十四章六節ヲ看ヨ)  
 問人々生マレシ救主ヲ識ルチ得ン爲メ天意ニ依テ備ヘラ

レタル所ノ表示ハ何ツヤ  
 答其誕生ト其地上ノ生活ニ關シタル諸事ヲ詳ニ預言シタ  
 ルモノ數多アリ是レ則チ表示ナリ  
 例ヘハ預言者イサイヤ救主ノ處女ヨリ生ル、チ預言ス  
 (イサイヤ  
 七ノ十イヤ)  
 預言者ミヘイ救主ノウフレエムニ生ル、チ預言シ而ソ  
 イウデヤ人未ダ其實事ヲ見聞セザルノ先既ニ此預言ヲ  
 領得シタリキ (マコトフエイニ  
 ノ四ト五六ニ)  
 預言者マラヒヤイエエルサリムノ第二神殿ノ建造ノ後預  
 言シテ曰ク救主ノ來臨已ニ近シ彼レ此殿ニ臨マン而ソ  
 彼レニ先テ預言者イリヤノ如キ先驅遣ハサレントスト  
 コノ先驅ナル者ハ則チ施洗者イデアンチ明示スルナリ

(マラヒヤノ五三)

預言者ザハリヤ救主ノイエエルサリムニ威儀堂々トシテ  
 入臨スルトチ預言ス (ザハリヤ  
 九ノ九)  
 預言者イサイヤ救主ノ苦難ヲ預言スルノ詳明ナル事奇  
 異ニ禁ヘズ (三章十  
 五章十)  
 ゴウド甘一ノ詩篇ニ救主十字架ニ於テ受クル所ノ苦難  
 ヲ象ル其精詳ナルヲ猶キ十字架ノ前ニ立テ録セルカ如  
 シ  
 預言者ダニイル四百九十年以前ニ救主ノ現出其十字架  
 ノ死及ヒ是ニ次テ生セントスルノ神殿頽壞并ニイエ  
 ルサリム城ノ廢滅ト舊約祭祀ノ絶止ヲ預言ス (ダニイル  
 ノ九章)  
 問 イエススハリストス地上ニ生活セル時ニ際シ彼レチ以

テ實ニ救主ト識得セシ者アリシヤ  
 答種々様々ソ方法ニ由テ之ヲ救主ト識得セシ者少トセズ  
 東方ノ博士ハハリストスノ生ルニ先テ東方ニ現レシ  
 星ニ由テ識得シウフレニムノ牧者ニ天使メウイブノ邑ニ  
 救主生マレタリト報セシニ由リテ識得シメチン及ヒ  
 アンナハ救主生後四十日ヲ經テ神殿ニ携ラレシ時ニ際  
 シ聖神ノ特示ニ由テ識得シ施洗者イナアンハイナルマ  
 シ河ニ在テ洗禮ヲ施スニ際シ神啓ト聖神鶴ノ如クコソ  
 イニススノ上ニ降臨スルニ由リ又天ヨリ神父ノ聲アリ  
 テ「此乃チ我愛子我カ喜悅スル所ノ者ナリ」ト云ヒシヲ聞  
 テ識得セリ (マハトフエ) 救主フツアル山ニ於テ變容セシヤ是  
 ト同シキ聲アリテ使徒ペトルイアコフイナアンニイ

ススノ誰ナルヲ示セリ曰ク「此乃チ我愛子我カ喜悅スル  
 所ノ者ナリ爾等宜シク之ニ聽クベシ」ト (マルク) 加之其誨  
 ニル所ノ教道ノ殊勝絶妙ナルト特ニ其行フ所ノ神異奇  
 跡ニ由テ救主ナルヲ識得セシ者枚擧スルニ遑アラズ  
 問 イニススハリストス何等ノ奇跡ヲ行ヘシヤ  
 答 痼疾ニ罹リ或ハ悪魔ニ憑ラレタル者ヲ或ハ一言ヲ發シ  
 或ハ手ヲ捫シテ之ヲ愈セリ或ハ己ノ衣ニ病者ヲ捫觸セ  
 シメ一瞬時間ニ之ニ改愈ヲ施シ一日ハ五麵包ヲ以テ一  
 日ハ七麵包ヲ以テ野ニ於テ數千人ニ飽カシメ陸地ノ如  
 ク水面ヲ歩行シ一言ヲ發シテ烈風ヲ鎮止シ又死者ヲ復  
 活セリ例ヘバナインノ妾婦ノ子、イアイルノ女及ビ死シ  
 テ既ニ四日ヲ過キタルラザルノ如キ是ナリ

問 神ノ子我等ノ救ノ爲ニ人体ヲ取ルタルコヨリ何ノ方法

ヲ以テ我等ノ救ヲ成セシヤ

答 其教道其行狀其死及ヒ復活ヲ以テス

問 ハリストスノ教道ハ何ゾヤ

答 神ノ國ノ福音ナリ或ハ言チ易ク云ハ救贖及ヒ永遠幸

福ノ教道ニシテ則チ現今正教會ニ於テ教授スル所ノ者

ナリ(マルコ一ノ十)

問 ハリストスノ教道ハ如何シテ我等ノ救ヲ得ルノ方法ヲ

ルヤ

答 全副ノ心ヲ以テ之ヲ承受シ之ヲ踐行スルヲ以テ救ヲ得

ルナリ蓋シ初人惡魔ノ詐言ヲ容受シ終ニ此詐言ハ罪ト

死ノ種トナレリ今之ニ反シテハリストスヲ信スル者熱

心ヲ以テハリストスノ眞言ヲ容受セバ則チ此眞言ハ「ハ

リストニアノン」ニ在テ聖淨不死ノ生命ノ種トナルナリ

使徒ペトルノ言ニ依ルニ「ハリストニアノン」ノ重生スルハ

可壞ニ由ルニ非ズ乃チ不可壞ノ種即チ活神永存ノ言ニ

由ル(ペトル前書)

問 イイススハリストスノ行狀如何シテ我等ノ救ヲ得ルノ

方法ヲルヤ

答 我等是行狀ニ倣フニ由テ救ヲ得ルナリ蓋シ「イイススハ

リストス」曰ク「人若シ我ニ事ハバ則チ當ニ我ニ從フベシ

我ノ在ル所我ニ事フル者モ亦在ルト(イコリナ一ノ十六)

○第四條

問 イイススハリストス誨ニル所行フ所皆衆人ヲシテ自ラ

彼ヲ敬慕スルノ心ヲ起サシム可キニ其十字架ニ釘セラルルニ至リシハ抑モ何ツヤ

答 イウヂヤノ長老學士輩痛クイニススニ己ノ偽教ト不正ノ行狀ヲ譴責セラレタルニ依テ大ニ彼ヲ憎惡シ又人民

イニススノ誨ユル所ノ教道ト行フ處ノ奇跡ニ感シテ崇尊スル事長老學士ヲ敬スルニ比スレバ更ニ優レルヲ視

テ酷ク彼ヲ嫉妬シ故ニ彼ヲ誣言シテ死ニ定議セリ

問 イニススハハリストス「ボンタイイピラト」ノ時十字架ニ釘セラルト云フハ何ツヤ

答 イニススハハリストスノ十字架ニ釘セラレシ時代ヲ示スカ爲メナリ

問 ボンタイイピラトハ何人ツヤ

答 ロマ政府ヨリ遣サレテイウヂヤ國ヲ統治スルノ方伯ナリ當時イウヂヤ國ハロマ人ニ服屬ス

問 何爲此事情ヲ注口スベキヤ

問 蓋シ是ニ於テイアコフノ預言明ニ應驗ス曰ク「賜安者未至ラザルノ先珪必ズイウダチ離レズ立法者其裔ヲ離レズ至レバ則チ兆民必ズ之ニ歸ス」(創世記四十九ノ十)

問 信經ニ於テ單ニイニススハリスホス「十字架ニ釘セラルト云ハズ之ニ加ルニ又「苦ヲ受ク」ノ言ヲ以テスルハ何爲

答 其十字架ニ釘セラレタルハ偽師ノ論スルカ如ク唯苦ト

死トノ虚像ニ非ズ則チ眞實ノ苦ト死ナルヲ示スカ爲ナ

問 何爲其葬ヲレシ事ヲ載スルヤ

答 是レ亦其實ニ死シテ實ニ復活セシテ證ス蓋シ其敵守兵  
ヲ置テ墓ヲ衛リ且之ヲ封印シタルハナリ

問 イイススハリストス神トシテ苦シ受ケ死セシハ何ツヤ

答 彼レ苦ヲ受ケ死セシハ神性ニ由ルニ非ズ乃チ人性ニ由  
ル苦ヲ脱ス能ハザルノ故ニ非ズ乃チ苦ヲ受クルヲ欲セ  
シカ故ナリ

問 イイススハリストス自ラ曰ク「我レ命ヲ捐テ我ヲシテ復

ビ之ヲ取ルベカラシム人之ヲ我ヨリ奪フナシ然レハ我  
自ラ之ヲ捐ツ我之ヲ捐ツルノ權アリ亦我復ビ之ヲ取ル  
ノ權アリ」ト(イナブシナハ)

問 イイススハリストス「我等ノ爲ニ十字架ニ釘セラル」ト言

ルハ何ツヤ

答 彼レ其十字架ノ死ヲ以テ我等ヲ罪、誣及ヒ死ヨリ贖ヘル  
ヲ謂フナリ

問 聖書ニ斯贖ヲ如何ニ言ルヤ

答 贖罪ノ事ヲ言テ曰ク「彼レニ由テ我等其血ヲ以テ贖ヲ得  
即チ罪ノ赦シ其洪恩ニ循フナリ」(エノフエス)

贖罪ノ事ヲ言テ曰ク「ハリストス己ニ我等ヲ贖ヒ律法ノ  
誣ヨリ免レシム其我等ノ爲メニ誣ニ服スルヲ以テナリ」

(ガラテヤ  
三ノ十三)

贖死ノ事ヲ言テ曰ク「夫レ子既ニ肉ト血ニ屬スルカ故彼  
レ自ラ亦共ニ之ニ屬シ死ヲ以テ死ノ權ヲ秉ル者即チ魔  
鬼ヲ廢ス可キヲ致ス且將ニ凡ソニ生死ヲ畏レテ屈服ス



ル者皆之ヲ釋カシトス(コリント一五) 主  
 問 イイスス夫アリストスノ十字架ノ死ハ何ヲ以テ我等ヲ罪  
 詛及ヒ死ヨリ贖ヒ救フヤ  
 答 聖書 イイススハリストストアダムトノ比較ヲ以テ我等  
 解悟シ得ルダケ此奧義ヲ明カシ以テ是ヲ信スルニ便ナ  
 ラシム夫レアダムハ自然ニ由テ全人間ノ首ナリ人皆自  
 然ニ之ヨリ出テ之ト一体ナルヲ以テナリ神性ト人性ト  
 合體シタルイイススバリストス夫恩寵ニ由テ人々ノ新  
 ナル全能ノ首トナレリ彼レ信ヲ以テ人々ヲ自身ニ合體  
 セシムルニ由テナリ我等アダムニ由テ罪詛及ヒ死ニ沈  
 淪ススト等ク我等イイススバリストスニ由テ罪詛及ヒ  
 死ヨリ贖ハルイイスス我等ノ爲ニ自由コシテ苦難ヲ受

ケ十字架ニ死スルヤ是レ無罪ナリ神人ノ死ナレバ其値  
 價無量其功德洪大而今罪惡ニ縁テ我等ヲ既ニ死ニ審定  
 セシ所ノ神ノ公義ヲ全シ満足セシムルヲ得且斯死タル  
 ヤイイスス神ノ公義ヲ犯サズシテ我等罪アル者ヲ赦シ  
 罪ト死ニ克ツノ恩寵ヲ賜フノ權力ヲ自己ニ獲タル無量  
 ノ功績ナリ  
 「神聖徒ヲシテ此奧義異邦人ノ中ニ於ルノ榮富ヲ知ラシ  
 メント欲シ即チハリストス爾等ノ中ニ在リ榮光ヲ得ル  
 ナ望ムヲ致ス(コリント一七)  
 「若シ夫レ一人ノ愆ニ由テ罪ト一人ニ由テ王タランニハ  
 何ソ況ヤ洪恩及ヒ義ノ賜ヲ受ル者將ニ一人イイススハ  
 リストスニ由リ生ニ在テ王タランヤ(コリント一七)

「今夫レ凡ソイエスヲハリテトスニ在リ肉ニ從ハズシテ  
 靈ニ從フ者定罪アルナシソハ生命ノ靈ノ法ハハリスト  
 スイエスニ由テ己ニ我ニ罪ト死ノ法ヨリ釋ケバナリ  
 蓋シ法ハ肉ニ由テ在弱ナルノ故ニ因テ爲ス能ハザル所  
 神之ヲ爲ス乃チ己レノ子ヲ有罪ノ肉ノ狀ニ於テ遣ハシ  
 罪ノ爲ニ罪ヲ肉ニ擬シ律法ノ義ハ我等肉ニ從ハズシテ  
 靈ニ從フ者ニ成ルヲ致ス(ローマ八)

問 イエススハリストス眞ニ凡ソ我等ノ爲ニ苦ヲ受ケシヤ  
 答 イエススハリストス自己ヨリシテ論スルハ眞ニ凡民  
 ノ爲ニ己ノ身ヲ以テ犠牲ニ供シテ恩寵ト救贖ヲ凡民ニ  
 得セシム然レモ吾人ヨリシテ論スルハ自由ニシテイ  
 イススノ苦ニ共與シ其死ニ倣フ(コリント一)者ノミ以テ能ク

恩寵ト救贖ヲ得ヘシ  
 問 我等何ヲ以テイエススハリストス大ノ苦ト死トニ共與シ  
 得ヘキヤ

答 我等イエススハリストス大ノ苦ト死トニ共與シ得ルハ則  
 ナ活潑熱心ノ信ヲ以テシイエススハリストスノ救贖ノ  
 苦難ト死ノ能力ヲ密密押印スル所ノ機密ヲ以テシ并ニ  
 己ノ肉ト其情及ビ慾ヲ十字架ニ釘スルヲ以テ共與スル  
 ナ得ヘシ  
 使徒曰ク我レ律法ニ由テ律法ヲ爲ニ死シ神ノ爲ニ生  
 シヘキヲ致ス我レハ勿クハ同ク十字架ニ釘セラレ  
 然ニ我尙ホ生ルハ我ニ非ス乃チハリストス我ニ在テ生  
 シルナリ且今我レ身ニ在テ生シルハ我ヲ愛シ我ガ爲ニ

已レテ捨テ神ノ子ヲ信スルニ由テ生クルナリ(ガラタイ十一ノ二十九)

一爾等豈ニ知ラズヤ我等凡ソハリネトスイイススニ於テ洗禮ヲ受ケシ者ハ其死ニ於テ洗禮ヲ受ケシヲ(ロマ六)

爾等隨時此餅ヲ食ヒ此杯ヲ飲ミ乃チ主ノ死ヲ表ハシテ以テ其降臨ニ迄レ(コリント前書)

ハリネトスイニ属スル者已ニ肉ト情及ヒ慾ヲ以テ十字架ニ釘ス(カラテヤ)

問己レノ肉ト情及ヒ慾ヲ如何ニテ十字架ニ釘スベキヤ

答情及ヒ慾ヲ節制シ之ト相反スルノ善事ヲ行フヲ以テス例バ忿怒ノ情我等ヲ懲慝シテ以テ仇敵ヲ誅誇シ及ヒ之ニ惡業ヲ爲サシメントスト雖モ堅ク此慾望ニ抵抗シ

イイススハリネトスイ十字架ニ於テ己レノ仇敵ノ爲ニ祈禱セシテ想起シ我等モ亦切ニ己レノ仇敵ノ爲ニ祈ルベシ則チ斯ヲ以テ我等忿怒ノ情ヲ十字架ニ釘スルナリ

○第五條

問 イイススハリネトスイ何等ノ確證ヲ顯ハシテ其苦死ハ吾人ヲ救フノ方ナルヲ示セシヤ

答 其復活ハ則チ確然タル信證ナリイイスス此復活ヲ以テ亦我等幸福ノ復活ノ基礎ヲ設置ス

「ハリネトスイ今己ニ死ヨリ復活シ而ノ寢者ニ於テ乃チ首實ノ菓ナリ」(コリント前書十五ノ廿)

問 イイススハリネトスイ死シテ未タ復活セザリシ以前ハ其景情如何シヤ

答 教會ノ詠歌能ク之ヲ象示ス曰ク「ハリストス乎爾ヲ軀身  
ハ墓ニアリ神タルヲ以テ靈魂ハ地獄ニアリ盜賊ト與ニ  
樂堂ニアリ父ト聖神ト偕ニ賓坐ニ在リ爾ヲ宇宙ニ充滿  
シ言盡シ難キ者ナリ」

問 アーロトハ何ツヤ

答 アーロトハグレチヤノ語ニシテテ字義ヲ詳ニスルニ光明ノ

亡キ所ヲ謂フナリハリストスノ教道ニ於テハ此稱ヲ以

テ神靈囹獄ノ義ニ用ニ即チ罪ニ由テ神ノ顔前ヲ離レ并

ニ其光明ト幸福ヨリ遠カリシ靈魂ノ様態ヲ指シテ云フ

ナリ（イウダ一ノ六、ハ音歌ノ第五聲讚歌ニハ四音考）

問 何爲イイススハリストト大地獄ニ降リシヤ

答 彼所ニ亦死テ服シタルノ凱勝ヲ傳宣シ及ヒ信シテ其來

臨キ待望セシ靈魂ヲ救ヒ贖ハンカ爲ナリ

問 聖書ニ此事ヲ言ルヤ

答 左ニ掲ルノ訓言茲ニ關ス曰ク「ハリストス亦曾テ一次罪

ノ爲ニ苦ヲ受ク乃チ義者不義者ニ代リ我等ヲ引テ神ニ

歸セシメント欲ス彼レ身ニテ苦ヲ受ケ然レハ靈魂ヲ以テ

復活ス彼レ曾テ此靈ヲ以テ獄ニ在ルノ靈ニ宣道ス」（ペト前

問 第三日ニ書ニ録スル所ノ如ク復活セリト云ル信經ノ言

ニ於テ何ヲ見留ム可キヤ

答 此言ハコリント人ニ達スルノ書中ヨリ信經ニ引用セシ

者ナリ曰ク「我レ受ケシ所ヲ以テ爾等ニ授ク其首先ナル

者ハ即チハリストトス我等ノ罪ノ爲ニ死スル書ニ録スル

所ノ如シ且葬ラレ第三日ニ復活スル書ニ録スル所ノ如

シ（コリント前書十五ノ三四）

問「書ニ録スル所ノ如シ」ト云ルノ言ハ何意ゾヤ

答是レナ以テ「不」スズバリストス死シテ復活セシハ眞ニ

舊約書ニ預言セシ所ト違フナキヲ示ス

問例ヘハ此事何ニ録セラルヤ

答例ヘハ預言者イザヤノ書五十三章ニ於テ詳細ヲ悉ク

シ以テ多クイオスズハ「死」ノ苦ト死ノ様子ヲ示ス

曰ク「其レ我等ノ諸罪ノ爲ニ刺サレ我等ノ不義ノ爲ニ害

セラレ我等平和ヲ得ルノ罰悉ク其身ニアリ且其鞭朴ニ

由テ我等醫ルヲ得」（節五）

使徒ペトロナ十五ノ詩篇ノ言ヲ引キハリストスノ復活ヲ

謂テ曰ク「蓋シ爾將ニ我カ魂ヲ地獄ニ遣サ」シ爾ノ聖者ヲ

ノ朽壞セシメザラントス（行書七）

問「イオニスハリストス」第三日ニ眞ニ復活スベキヲ舊約聖

書中ニ載スルヤ

答預言者イザヤ自ラ斯ノ預象ヲ現表ス即チ「イザナ魚腹ニ

在ル三日三夜」（イザヤナ）

問何ヲ以テ「イオニスハリストス」ノ復活セシヲ識得セシヤ

答軍兵其墓ヲ看守セシガ主ノ使顯ハレ墓ヲ蔽塞セシ石ヲ

移轉シ且加之地大ニ震動セシヲ以テハリストスノ復活

セシヲ識リ駭然驚怪シタリ天使亦ハリストスノ復活ヲ

以テ「マ」グダラノマリヤ及ヒ其他數人ニ報信ス「イオニス

ハリストス」自ラ復活セシ日ニ當テ許多ノ人々譬ニ「バ」

膏女、ペトル、及ヒ<sup>(三)</sup>マウス<sup>(四)</sup>ニ行ク三人ノ弟子ニ顯ハレ  
又閉門<sup>(五)</sup>タル家ニ於テ諸使徒ニ顯ハレ然ル後四十日ノ  
間屢々彼等ニ顯現シ一日ハ總計五百有餘ノ信者ニ顯現  
シタル<sup>(六)</sup> コリント前  
書十五ノ六

問 イイススハリストノ復活セシ後四十日ノ間使徒ニ顯現  
セシハ何ツヤ

答 此時彼等ニ誨<sup>(七)</sup>ユルニ神國ノ奧義ヲ以テセシナリ (行實一)

問 第六條<sup>(八)</sup>ニ主ノ昇天ヲ象示スルハ聖書ヨリ取リシ  
モノニ非ズヤ

答 聖書ノ訓言ヨリ取レリ曰ク<sup>(九)</sup>降<sup>(十)</sup>リシ者ハ即チ諸天ノ上ニ  
昇リ萬物ニ充滿スルヲ致ス者ナリ (エペソス  
四ノ十)

「我等此ノ如キノ祭司長アリ乃チ天ニ在テ至大者ノ位ノ  
右ニ坐ズ」 (エペソス  
八ノ一)

問 イイススハリストノ天ニ昇ルニ神性ニ由ルヤ將々  
人性ニ由ルヤ

答 人性ニ由ル彼レ神性ニ由テ嘗テ恒ニ天ニアリ且今亦  
天ニアルナリ

問 神在ラザル所ナシ然ルニホイススス上ニ如何シテ  
神父ノ右ニ坐スルヤ

答 是レ意ヲ以テ解スベキモノニ即チイイススハリスト  
ノ神父ト同一ノ能力及テ光榮ヲ有スルヲ謂ナリ

○第七條

問 聖書ニハリストスル將來ノ來臨ヲ如何ニ言ルヤ

答「此イニス爾等ニ別レテ昇天スルナリ爾等其ノ是ノ如

ク昇天スルヲ見シニ依リ後ヲ必ス是ノ如クシテ來ラシ  
ト(行實一)是レ天使ガ主人天ニ昇ル時使徒ヨ云ヒシ言ナリ

問聖書ニ其將來ノ審判ヲ如何ニ言ルヤ

答「時將ニ至ラシ凡ソ墓中ニアル者將ニ神ノ子ノ聲ヲ聞テ  
出テントス曾テ善ヲ行フ者ハ生テ獲ルノ復甦ヲ得曾テ  
惡ヲ行フ者ハ罪ヲ受クルノ復甦ヲ得ント(イサハサ九)イ

問聖書ニ其無究ノ國ヲ如何ニ言ルヤ

答「彼レ將ニ大トナリ稱セラレテ至上者ノ子ト爲ラシトス  
主ナル神將ニ其祖ダウイドノ位ヲ以テ之ニ予ヘントス將  
ニ永クイアコフノ家ニ王トシテ其國究ナカラントス」ト

(ルカ一三三)

此レ天使神母ニ對シテ云ヒシ言ナリ

問「ハリストスノ將來ノ來臨ハ以前ノ來臨ト同カルベキヤ  
答以前ノ來臨トハ大ニ異ナリ曾テ我等ノ爲ニ苦ヲ受ケ

シカ爲ニハ卑陋微賤ニシテ來リヌレヒ我等ヲ審判セシ  
爲メニハ「光榮ニ乘シ諸聖徒ト偕ニッ來ラントス」(マコ五ノ三)

(一十)

問彼レ凡人ヲ審判セントスルヤ

答凡人ヲ審判シテ了遺ナカラントス

問其審判如何シヤ

答各人ノ良心衆前ニ露出シ而シテ地上ニ於テ一生ノ間凡ソ  
爲シタルノ性行舉動ハ勿論亦凡ソ口ニ發シタルノ言密  
藏ノ願望思想ニ至ルマテ悉ク露見セラル、ナリ」主ハ臨

ム彼レ將ニ幽暗ノ隱情ヲ光照シ且諸心ノ計謀ヲ顯サシ  
 トス時ニ各々必ス神ヨリ譽ヲ得ン(コリント前四ノ五)  
 問彼レ亦不善ノ言語思想ノ爲ニ我等ヲ審判ス可キヤ  
 答若シ痛悔ヲ以テ信ヲ以テ行狀ヲ改良スルヲ以テ之ヲ拭  
 消セザレバ之ヲ審判スル固リ論ヲ俟タザルナリ「我レ爾  
 等ニ語ル人凡ソ出ス所ノ虛言審判ノ日ニ於テ必ス之ヲ  
 陳訴ス(マコト三十七)

問何時イイヌスハ我レ等ヲ審判ニ來ラシトスルヤ  
 答是レ未タ得テ知ルカカラザルナリ故ニ我等恒ニ是カ准  
 備ヲ爲シテ清廉潔白ニ一生ヲ送ルヲ要ス  
 「主ハ人アリ以テ遲シト爲スカ如ク所訴ヲ爲スヲ遲スル  
 ニ非ズ乃チ我等ヲ寬クシ人皆悔改ニ就クヲ欲シテ其一

モ沈淪ニ就クヲ欲セザルナリ然ルニ主ノ日將ニ至ラン  
 トス猶ホ盜ノ夜ニ乘シテ來ルカ如シ(ペトロ後書三ノ九)  
 「儆醒スベシ蓋シ爾等何ノ日何ノ時ニ人子至ルヲ知ラザ  
 レバナリ(マコト三十三)  
 問ハリストスノ來臨將ニ近カントスル其之ヲ示スノ表徴  
 アラザルヤ  
 答聖書ノ中ニ斯ヲ示スノ表徴ヲ記ス信仰親愛民間ニ減少  
 シ不善災害増長シ福音普ク萬民ニ傳宣シ而シテアンテイハ  
 リスト顯出スル是ナリ(マコト三十三)  
 問アンテイハリストト云何ヤ  
 答ハリストスノ敵者ニシテ勉メテハリストスノ教ヲ滅絶  
 セント欲スレト之カ爲ニ自ラ恐怖スベキノ状態ヲ以テ



淪亡スル者ナリ

問「ハリストスノ國」トハ何ゾヤ

答「ハリストスノ國ハ乃チ第一全世界第二凡ソ地上ニ居ル

ノ信徒第三凡ソ上天ニアル有福者チ云フナリ

第一チ天然ノ國ト稱シ第二チ恩寵ノ國ト稱シ第三チ光

榮ノ國ト稱ス

問「ハリストスノ國」終リナカラント云ル信經ノ訓言ハ此等

ノ中何ノ國ニ干係スルヤ

問「光榮ノ國」ニ干ス

○第八條

問「聖神」ヲ以テ「主」ト稱スルハ何意ゾヤ

答「神」ノ子チ主ト稱スルト同一ノ意ニシテ即チ神タルノ義チ

示ス

問「聖書」ニ是ヲ證スルヤ

答「是レ使徒」ペトル「ア」ナ「コ」ヤ「チ」隨「資」レ「テ」云「ヒ」シ「言」ニ「明」ナリ

曰ク「何爲サ」メ「ナ」爾「ノ」心「ニ」滿「チ」爾「チ」シ「テ」聖「神」ヲ「欺」ク「チ」致

スヤ」又曰ク「爾チ人ヲ欺クニ非ズ乃チ神ヲ欺クナリ」(五行ノ

四三)

問「聖神」ヲ以テ「生」チ「施」ス「者」ト「稱」ス「ル」ハ「其」意「如」何

答「斯」意「タル」聖「神」ハ「神」父「及」ヒ「子」ト「偕」ニ「生」命「ヲ」以「テ」造「物」ニ「賦

與」シ「特」ニ「靈」ノ「生」命「ヲ」人「類」ニ「賦」與「ス」ル「ヲ」以「テ」ナ「リ

「人」若「シ」水「ト」聖「神」ニ「由」テ「生」ル「者」ニ「非」ズ「ハ」神「ノ」國「ニ」入「ル」能

ハズ」(イ「チ」ア「ン

問「何」チ「以」テ「聖」神「ノ」父「ヨ」リ「出」ル「ヲ」識「ル」ヤ

答 イイススバリス上ノ自ラ云<sup>レ</sup>言ヲ以テ識ルナリ  
 曰ク「我將<sup>ニ</sup>父ヨリ<sup>ノ</sup>爾等<sup>ニ</sup>遣サントスルノ保惠師即チ  
 眞理ノ聖神父ヨリ<sup>ニ</sup>出ル者來ル時其レ將<sup>ニ</sup>我ガ爲<sup>ニ</sup>證  
 作ントス」<sup>(イハセ六)</sup>  
 問 聖神父ヨリ出ルノ教ハ或不變易シ或ハ増加スルを得ベ  
 答 決<sup>シ</sup>テ能ハズ第一<sup>ニ</sup>正教會此教<sup>ニ</sup>於テハイイススバリス  
 フトス自ラ云ヒシ眞成ノ言ヲ反復スルモ<sup>レ</sup>其  
 言ハ固ヨリ眞理ノ充分完全シタル言出タル論法俟ザル  
 ナリ第二<sup>ニ</sup>聖神ノ眞教ヲ堅<sup>ク</sup>シテ大主眼トシテ來集シ  
 タルノ第三<sup>ニ</sup>全地公會此教ヲ信經中ニ充分遺ス所ナリ論  
 述シタルハ固ヨリ疑ナ容レザルナリ故<sup>ニ</sup>公教會是ヲ眞

理ト認メ第三<sup>ニ</sup>全地公會第七條ノ規則ヲ以テ更<sup>ニ</sup>新信經  
 ナ組成スルヲ禁ズ  
 是故<sup>ニ</sup>マ<sup>ス</sup>クノ聖イハアン書シテ曰ク「我等聖神、父ヨ  
 リ出ルト言ヒ而シテ父ノ神ト稱ス聖神子ヨリ出ルト言ハ  
 ズ然レハ唯彼ヲ稱シテ子ノ神ト云フナリ」<sup>(神學者一書  
 二章四節)</sup>  
 問 聖神「父」ト子ト偕<sup>ニ</sup>崇拜讚揚セラルベキハ何ヲ以テ明ニ  
 見ルヤ  
 答 イイススバリス上トス「父」ト子及ヒ聖神ノ名<sup>ニ</sup>由テ洗テ施  
 セ<sup>レ</sup>ト<sup>(マコ九)</sup>命シタルヲ以テ明ニ見ルナリ  
 問 何爲信經ニ聖神ハ預言者ヲ以テ嘗テ言ヒシト云フヤ  
 答 之ヲ信經ニ云ルハ僞教師妄<sup>ニ</sup>舊約書ヲ以テ聖神ニ由テ  
 録サレタルニ非ズト論ズルヲ駁撃ゼンガ爲ナリ

問 聖神預言者ヲ以テ眞ニ言ヒシハ聖書ニ證スルヤ  
答 使徒<sup>ペテロ</sup>書シテ曰ク「預言ハ素ト人意思ヨリシテ來ルニ

非ラズ乃チ神ノ聖人聖神ニ感<sup>レ</sup>テ言ヘルナリ」<sup>（後ト一  
十ノ三）</sup>

問 然ラバ聖神使徒ヲ以テ言ヒシナ何爲<sup>レ</sup>テ信經ニ載セザル  
ヤ

答 蓋シ信經ヲ纂成スルノ時ニ際シ使徒ノ聖神ニ感孚セシ  
チ疑フ者一人モ無カリシナリ

問 聖神殊異ナル形容ヲ以テ人々ニ顯レシ事アラズヤ  
答 聖神火舌ノ形容ヲ以テ使徒ニハリストスノ復活ノ後五

十日ニ降臨セシナリ  
問 聖神ハ今亦人々ニ合通スルヤ

答 凡ソ眞實ノ「ハリス」ヲアイニシニ合通スルナリ

「爾等豈ニ知ラズヤ爾等ハ乃チ神ノ殿而ソ神ノ聖神爾等  
ノ中ニア<sup>ル</sup>ナリ」<sup>（コリ<sup>ン</sup>ト<sup>ス</sup>前  
書三ノ十六）</sup>

問 何ヲ以テ聖神ニ共與スルヲ得ベキヤ  
答 熱切ノ祈禱及ビ機密ヲ以テス

「爾等惡ト雖モ尙ホ善賜ヲ以テ爾等ノ子ニ賜フヲ知ル何  
ソ況ヤ天父更ニ聖神ヲ以テ之ニ求ムル者ニ賜ハザラン  
ヤ」<sup>（コ<sup>リ</sup>ン<sup>ト</sup>ス  
前書三ノ十六）</sup>

「但シ神我救主ノ慈ト仁ト顯著スル時彼レ我等ヲ救フ我  
行フ所ノ義ノ功ニ由ルニ非ズ乃チ其矜恤ニ循ヒ重生ノ  
洗ヲ以テシ聖神ニ由ルノ新ヲ以テス聖神ハ即チ我救主  
イイフスハリストスニ因テ厚ク我等ニ注ク者ナリ」<sup>（テ<sup>イ</sup>ト  
三ノ一）</sup>

六四五

問 聖神ノ最緊要ノ恩賜ハ何ゾヤ

答 最緊要ニシテ且最普通ノ恩賜ハ預言者イサイヤノ算ス

ル所ニ依ルニ乃チ七恩賜アリ曰ク敬神ノ神知識ノ神勇

毅ノ神謀畧ノ神明哲ノ神智慧ノ神主ノ神即チ最上ノ敬

虔感孚ノ恩賜ナリ(イサイヤ十一ノ一ニ三参考)

○第九條

問「教會」トハ何ゾヤ

答 教會ハ神創立スル處ノ人民社會ナリ而シテ之ヲ結合スル

ニ正教神律神位及ヒ機密ヲ以テス

問 教會ヲ信ストハ何謂ゾヤ

答 敬畏ノ心ヲ以テハリストスノ眞教會ヲ崇尊シ其教道ト

誠命ニ聽從シ堅ク此教會ノ中ニ平常不斷ニ唯一永遠ノ

首ナル主イイスナハリストスヨリ湧出ルノ恩寵存在

シテ救贖ノ作用ヲ爲シ教誨ヲ垂レ之ヲ管理スルヲ信ス

ルノ謂ナリ

問 使徒ノ言ニ信ハ乃チ「未見ザル所ヲ據ト爲ス」ト云ヘリサ

レハ可見ノ教會如何シテ信ノ主眼タルヲ得ルヤ

答 第一ニ教會ハ假使見ユルト雖モ其之ニ委託セラレタル

恩寵之ヲ聖スルノ神恩ハ無形ニ見ルベカラズ而シテ此

神恩ハ乃チ教會ヲ信スルノ主眼タルナリ

第二ニ教會ハ地上ニ存在シテ地上ニ生活スル正教ノ「ハ

リスティアコン」悉皆之ニ属スルカ故ニ見ユルト雖モ然レ

モ亦天上ニ存在シテ凡ソ眞ニ信シテ聖ニシテ既ニ此塵世

ヲ逝リシ者亦同ク之ニ属スルカ故ニ見ルヘカラサル者  
 ナリ  
 問 教會ノ地上ニアリ又同シク天上ニアル事ハ何ヲ以テ能  
 シ理會シ得ラルベキヤ  
 答 使徒パウロノ「ハリステニアニシ」云レシ言ヲ以テス曰ク  
 「爾等ノ至ル所ノ者ハ乃チシオン山活神ノ城天上ノイエ  
 ルサリム萬萬ノ衆即チ天使ノ全軍天ニ録スル首出者ノ  
 教會萬民ヲ鞠スルノ神及ヒ凡ソ成全ノ義人ノ靈新約ノ  
 中保イエスナリ」(エウレイ十二ノ二)  
 問 我等何ヲ以テ神恩ノ眞教會ニ存スルヲ確信スベキヤ  
 答 第一ニ其首ハ乃チ恩寵眞理ヲ充滿スルノ神人イエス  
 ハリストスナリ而シテ其体即チ教會ナルモノハ恩寵眞理

ヲ以テ充滿セラレ、者ナルナリ(イテア十七ノ一)  
 第二ニイエスハリストス其弟子ニ聖神ヲ遣ハシテ永  
 遠無究彼等ト與ニアルヲ許約シ而シテ此許約ニ由テ聖神  
 教會ノ牧師ヲ堅定スルナリ(イテア十四ノ一)  
 使徒パウロノ「イエスハリストスハ事ヲ謂テ曰ク「神父之  
 ニ賜ヒ教會ニ於テ一切ノ首ト爲セリ夫レ會ハ乃チ其身  
 ナリ」(エフエス二)  
 同ク使徒教會ノ牧師ニ謂テ曰ク「爾等當ニ自ラ慎ムベシ  
 亦全群ヲ慎メ即チ聖神爾等ヲ立テ置彼レニ於テ監督ト  
 ナリ」(エフエス二)  
 問 我等何ヲ以テ神恩ノ現今教會ニ存在シ又世末ニ至ルマ

テ存在セントスルヲ確信スベキヤ  
答 イイススハリストスノ自ラ云ル訓言ト其使徒ノ訓言ト

由テ我等此事ヲ確信スルヲ得左ノ如シ

「我將ニ我會ヲ建ントス而シテ地獄ノ門之ニ勝ツヲ能ハス」

(マコトフエイト)

「我常ニ爾等ト偕ニ世ノ末ニ至ラン、アミン」(マコトフエイト)

「教會ニ在テハリストスハイイススニ因リ光榮ヲ以テ之レ

「神、父」ニ歸シ世々ニ至リ歴代暨クルナカラシ、アミン」(エフエス)

(一)

問 何爲教會ハ「唯一」ナルヤ

答 蓋シ教會ハ唯一ノ靈体ニシテ唯一ノ首ハリストスアリ

而シテ神ノ唯一ノ神ニ因テ活動セラル、ナリ

「體」一神ニ誠ニ爾等召テ蒙ルノ召テ望ム所ノ者ニナルガ

如シ主ニ信一洗禮一萬有ニ於テ父及神ナル者ニ

(エフエス)

問 我等何ヲ以テイイススハリストスハ唯一ノ教會ノ唯一

ノ首タルヲ尙ホ詳ニ確信ヲ得ベキヤ

答 使徒パウエル書シテ曰ク「神ノ室タル教會ノ爲メニ己ニ築

クニ基ハイイススハリストナリ此外別ニ能ク一基ヲ

築ク者ナシ」(コリント前書) 是故ニハリストスノ体タル教

會ノ爲ニハイイススハリストス以外別ニ首アルヲ得ザ

ルナリ

歴代無窮ニ存スベキノ教會ハ亦恒ニ存スルノ首ヲ要ス

則チ斯ノ如キ者ハ唯一ナルハリストスナリ

是故使徒モ亦「教會ノ役者」ト稱セラル、ニ過キズ

三(世) 教會ニ寄ルモノハ、人ノ總會ニ寄ルモノニ異ナリ

問 教會ノ唯一ハ我等ニ何等ノ義務ヲ命スルヤ

答 靈ニ属スルノ唯一ヲ守リ和平ヲ以テ相繫維スベシ

三(世) 教會ニ寄ルモノハ、人ノ總會ニ寄ルモノニ異ナリ

問 各方獨立ノ教會少カラズ例ヘバイエルサレムアンティヤ

ヒヤアレクサンデルヤコンスタンティノブル

會ノ如キアテ如何シテ教會唯一ナリトノ意ニ適合スヘ

三(世) 教會ニ寄ルモノハ、人ノ總會ニ寄ルモノニ異ナリ

答 是皆私會即チ唯一ノ公教會ノ一部分ナリ貌ノ形迹ニ依

テ各々異ナルニ其神妙無形ニ公教會ニ体ノ大肢タル

ニ妨ナシ又唯一ノ首ハリストスヲ奉シ及ヒ信仰ト恩寵

ノ唯一ノ靈ヲ有スルヲ障礙セザルナリ而シテ此唯一ノ存

スル所以ハ則チ信認チ一ニシ及ヒ祈禱機密ノ相和合ス

ルヲ以テ現ニ見ユルナリ

問 地上ニ於ル教會ト天上ニ於ル教會ハ亦唯一ナルヤ

答 勿論唯一ナルヲ章々ナリ唯一ノ首我主イエズスハリス

トスニ於ルノ關係ニ由リ又自他二者相互ニ和合スルニ

由テナリ

問 地上ニアル教會ト天上ニアル教會ト相和合スルノ方法

如何

答 信ト愛トノ祈禱ナリ地上ニ在テ操作勞働スル教會ニ属

スルヲ信者神ニ祈禱スルニ際シ天上ノ教會ニ属スルノ

聖人ノ扶助ヲ呼求テ而シテ聖人ニ至テ神ニ親近スルカ故

地上ニ在ル信者ノ爲ニ中間ノ祈禱ヲ行ヒ以テ彼等ハ祈禱ヲ潔メ之ヲ堅ウシテ神前ニ獻ス又神ノ旨ニ由リ或ハ不可見ノ能力ヲ以テ或ハ自ラ顯出スルヲ以テ或ハ又其他ノ方法ヲ以テ恩惠仁慈ヲ地上ノ信者ニ施行ス問地上ニ於ル教會聖人ヲ呼テ祈禱スルノ規則ハ何ニ基クヤ

答聖傳ニ基クナリ然レモ其本原ヲ尋レバ亦聖書ニ明ナリ例ヘバ預言者ダウト呼祈シテ曰ク我等ノ列祖アウラアムイサアシ及ヒイテラオノ主ナル神ヤト此時ニ際シダウト聖人ヲ記念シ以テ自己ノ祈禱ヲ堅ウスルヲ猶ホ現今正教會ニ我等ノ眞神ハリテ我等ヲ呼求スルニ其至潔ナル母及ヒ諸聖人ヲ祈禱ヲ以テスルカ如ク然リ

（第十一歴代記廿九）

イエハサリムノ宗ルカ神事ノ講明ニ曰ク我等既ニ死セシ者ヲ記憶セシ第一ニハ列祖預言者使徒致命者等ヲリソバ彼等ノ祈禱及ヒ代求ニ由テ神我等ノ祈禱ヲ容受セシカ爲ナリ（機密指南九節）

大ワシリイノ聖四十致命者記念祭ノ講説ニ曰ク困苦ノ者ハ四十致命者ニ趨就シ安樂ノ者ハ是ニ請助シ一ハ困苦ノ釋サルヲ得シカ爲一ハ固有ノ幸福ヲ保セシカ爲ナリ此所ニ敬虔ノ婦ノ兒子ヲ爲ニ祈禱シ或ハ他行セシ夫ノ歸來ヲ懇願シ又ハ病者ニ壯健ノ復スルヲ求ムルアルヲ見ル爾等ノ所求ハ致命者ノ祈禱ニ由テ必ス成就セシ



問天ニアル聖人ノ中間ノ祈禱ヲ聖書ニ證スルヤ

答聖福音者イチアソ黙示中天ニ於テ天使ヲ見テ神此天

使ニ賜フニ多香ヲ以テスソ六諸聖徒ノ祈禱ト同ク位前

ノ金壇上ニ獻スルカ爲ナリ而ソ香ノ烟下諸聖徒ニ祈禱

ニ天使ノ手ニ由テ同ク神前ニ昇リ(黙示四ノ八)

問聖人思惠ヲ施サシカ爲メニ天ヨリ自ラ顯出セシテ聖書

ニ證スルヤ

答聖福音者マトフェイ傳説ス我主イエススハリスト十字

架ニ死セシ後既ニ甦ルノ聖人其身多少復起シ墓ヲ出テ

イエススノ復生ノ後ニ迄テ乃チ聖城ニ往キ多人ニ現與

ス(マコ五ノ三三)如此キ大奇跡ハ固リ重大ノ準的ナクハ

成ルベカラザルガ故則チ必ス想像スベシ聖人復活シテ

出顯セシ所以ハイエススノ地獄ニ降リシ事

及ヒ其凱勝ノ復活ヲ報信シ而シ此傳教法以テ舊約教會

ニ生レシ者ヲシテ速ニ此時露出セ茲新約教會ニ轉移セ

シメシカ爲ナリ

問聖人死セシ後地ニ属スル者ヲ以テ奇跡ヲ行フ事何等ノ

證ニ由テ堅ク信用シ得ベキヤ

答第四列王記ニ證スニ死者預言者ニ明セイノ骸骨ニ觸

レシニ由テ復甦スト(二十三)

使徒パウエル身親ラ疾病ヲ愈シ奇跡ヲ行ヒシハ論ハ俟タ

ズ其軀體ヨリ取リシ怕及ヒ巾モ其不在ニ於テ異能奇跡

ヲ顯カセリ(行十ノ二十九)此例ヲ以テ視ルニ聖人ハ死セシ

後ト雖モ自ラ聖ニセル地上ノ者ヲ以テ恩惠ヲ施行スル

神學者グリゴリイヨウツクシクテ詭責スルノ第一詭説ニ曰ク「汝チハハリストスノ爲ニ自己ヲ以テ犠牲ニ供セシ者ヲ作ヤス又大ナル功勞者イテアソシベトルパウエルイアコフステフツルカズンドレイフクラ其他或ハ彼等ニ先チ或ハ彼等ニ後レテ眞理ノ爲ニシテ辛苦艱難ヲ受ケシ者ヲ畏レズ是等ノ人々或ハ火ニ焚レ或ハ鐵ニ扑レ或ハ猛獸ニ噛マレ或ハ慘刑者ニ苦メラレ或ハ現世ノ災禍不幸ニ遭フト雖モ堅ク自持シテ挫屈セズ苦難ニ抵抗スル恰モ他人ノ軀或ハ無体ノモノニ如ク然リ是レ何ツキ一言タリモ敬虔ヲ失ハザラシカ爲ナリ故ニ今ニ至テ衆ニ尊敬頌賀セラル當然ノ理ナリ彼等惡鬼ヲ逐ヒ疾病ヲ愈シ或ハ

人ニ現顯シ或ハ預言ス彼等ノ軀体ノ功能實ニ少カラズ或ハ之ニ觸レ或ハ之ヲ敬スルモハ其聖ナル靈魂ト一様ノ力ヲ有ス又彼等ノ血一滴タリト雖モ苟モ彼等ノ苦難ヲ表スルモノハ其功用全体ト異ナルコトナシ」

「ダマスクノイデアソフ書ニ曰ク「聖人ノ不朽屍ハ救贖ノ源泉トシテ主宰ハリストス我等ニ賜フ之ヨリシテ種々ノ恩澤流出ス」トイテアソシクテ講明シテ曰ク「蓋シ神ハ亦彼等ノ心靈ニ由テ其軀ニ在リ」(神學者四書十(五)章三四節)

問 教會ハ何ヲ以テ「聖」ナルヤ  
答 蓋シハハリストスハ其苦難ヲ以テ其教導ヲ以テ其祈禱及ヒ機密ヲ以テ聖ニセリ  
「ハリストス教會ヲ愛シテ之カ爲メニ己ヲ捨テ、以テ之

聖コシ水ヲ洗コ於テ言テ以テ潔ウス且之ヲ已カ前ニ  
 立テ無瑕無疵并ニ其類ナキノ榮光ノ教會ト爲サント欲  
 ス乃チ聖コシテ無玷ナルヲ謂フナリ(エフエス五ノ廿)  
イイススハリストス信者ノ爲ニ神父ニ祈レル言ニ曰ク  
 「願シハ爾ノ眞理ヲ以テ之ヲ聖セヨ爾ノ言ハ即チ眞理ナ  
 リ我レ彼等ノ爲ニ自ラ聖コシ彼等チ亦眞理ヲ以テ  
 聖ヲ得セシム(イコサアノ十七)  
 問 教會ノ中罪ヲ犯ス者アリ然ラハ何ヲ以テ其レ聖ナルヤ  
 答 罪ヲ犯スト雖モ眞實ノ悔改ヲ以テ自ラ潔ウスル者ハ教  
 會ノ聖ナルコ妨害ナシ而シ不悔ノ罪人ニ至リテハ或ハ  
 教會ノ可見ノ權力ニ由リ或ハ神ノ不可見ノ審判ニ由テ  
 死肢トシテ教會ノ体ヨリ截斷セラル是ヲ以テ教會ハ此

事ニ關シテモ依然トシテ恒ニ聖ナルナリ  
 「宜シク爾等ノ中ヨリ此惡人ヲ驅クベシ(コリソス前書)  
 「神ノ基堅立シ此印認スリ云ク主ハ己レニ屬スル者ヲ知ル  
 又云ソ凡ソ主ノ名ヲ名クル者ハ惡ヨリ遠サカルベシ(コリ  
イコサ前書  
ニノ十九)

問 何爲教會カ「公教會即チ一般或ハ全世ノ教會ト稱スルヤ  
 答 蓋シ教會ハ地所時世人民ニ由テ限界セラル、者ニ非ズ  
 乃チ自己ノ中ニ何ノ所何ノ時何ノ民ヲ問ハズ悉ク眞信  
 ノ徒ヲ含有スルナリ使徒パウエル曰ク「福音ハ全世界ニ徧  
 及シ且菓ヲ結ビ成長ス(コロサス)又曰ク「ハリストスノ  
 教會ニ在テエリソ人或ハ不ウテ人割禮ヲ受ケ或ハ  
 割禮ヲ受ケザル或ハ夷或ハスキスイセ人或ハ奴或ハ自主

ナシ唯ハリストスハ萬物ニ萬物タルナリ(コロ三)

「凡ッ信ニ由ル者ハ信アルノアウラアムト同ク福ヲ受ク(カフテヤ)

問公教會ハ如何ナル最大ノ特權ヲ有スルヤ

答高上ノ特許教會ニ屬スル者アリ「地獄ノ門之ニ勝ツ能ハ

ズ」主世末ニ至ルマテ之ト偕ニス「神ノ光榮ハリストスイ

ニス」由テ之ニ存シ歷代無究ニ至ル」是故ニ公教會ハ

無論宗教ニ背戻シ宗教ノ真理ヲ誤リ或ハ迷惑ニ陥ルノ

患アルナシ

「我等疑ハズシテ確乎タル真理ト認ム公教會ハ罪ヲ犯シ

或ハ迷惑シ而シテ眞理ニ易ヘテ偽詐ヲ言出スコ決シテア

ルナシ蓋シ聖神ハ恒ニ信實ヲ以テ教會ニ奉事スルノ教

父及ヒ教師ヲ以テ之ヲ保護シテ凡ソ迷惑ニ陥ラザラシ

(東總主教正教)

問公教會ハ自己ニ世界ノ所有眞信者ヲ含有セバ則チ信者

タルモノ教會ニ屬スルハ救贖ノ爲ニ必ス缺クベカラザ

ルノ重事タルヲ認ム可キニ非ズヤ

答實ニ然リ使徒パウロノ訓言ニ依ルニイハセズスハリスト

スハ教會ノ首ニシテ彼レ且身ノ救主タルガ故其救贖ニ

與ルヲ得ント欲セバ宜シク必ス其身則チ公教會ノ肢ト

ナルベキナリ(エフェ三)

使徒ペトル書シテ曰ク洗禮ノ我等ヲ救フハノイノ方舟

ニ肖似スト凡ソ救ヲ得大洪水ヲ免レシ者ハ單ニノイノ

方舟ニ由テ救ヲ得タリ如此ク凡ソ永遠ノ救ヲ獲ル者ハ

唯一公教會ニ於テ之ヲ獲ルナリ  
問 東教會ト稱スルハ何等ノ意ニ由リ又何等ノ記憶ニ由ル

答 罪ナキ原祖ノ初教會ハ東方ニ設置セラレタル樂堂ニ於  
テ初テ建テ罪ニ陥リシ後モ救主ヲ遣ハテトテ特許ヲ以  
テ被救者ノ教會ノ新基礎亦彼ニ置カレ東方ナルモウテ  
ヤノ邦ニ我主イエスキリストス我等ヲ救フノ功績ヲ  
爲シ以テハリ大トス教會ノ本源ヲ開キ是ヨリシテ教會  
普天下ニ蔓衍弘布セリ而シテ今ニ至テ全地公會ノ堅定セ  
シ正ナル公ナルノ宗教ハ純乎不易ニシテ東ノ古教會并  
ニ東會ト思想ヲ同ウスル教會ニ保守セラレル例ハ神恩  
ニ由テ成シヤノ教會ノ如キ其一セリ

問 何爲教會ヲ「使徒」教會ト稱スルヤ

答 蓋シ教會ハ使徒ヨリ聖手撫禮ヲ以テ不斷不易ニシテ教  
道及ビ聖神ノ恩賜ノ連綿ヲ保守ス故ニ教會ハ此意ヲ以  
テ亦正教人若クハ正信者ノ教會ト稱セラレ

「爾等異民或ハ他邦ノ人ヲラズ乃チ諸聖徒ノ同邦者ト爲  
リ神ノ家ニ屬ス且諸使徒及ビ預言者之カ基タリ爾等其  
上ニ建テラレヨイエスキリストス自ラ其隅ノ首石ト爲  
ル」(エペソニ)

問 信經ニ教會ヲ使徒ノ教會ト稱スルハ何ヲ教諭スルヤ  
答 堅ク使徒ノ教導及ビ遺傳ヲ守リ而シテ使徒ノ教導ニ基カ  
ザルノ教道并ニ教師ヲ絶棄スルヲ教諭ス  
使徒ハウエル曰ク「兄弟ヤ爾等宜ク堅立シ且或ハ言ニ由リ

或ハ我ノ書ニ由リテ爾等教ヲ受ケル所ノ傳ヲ固守スベシ（ニソノル十五後書）

「異端ニ從フ人既ニ之ヲ警メルニシテ而再ビシ則チ之ヲ絶テ（テト三）

「多ク不服ノ者虚誕ヲ言ヒ及ヒ煽惑ヲ爲ス者アリ而ノ割禮ヲ受ケシ者尤モ甚シ其口須ク之ヲ箝スベシ彼レ汚利ニ縁テ教ユルニ不宜ノ教ヲ以テシ人ノ闔家ヲ覆スヲ致ス（テト一）

「爾等兄弟若シ會ニ聽ザンバ爾等之ヲ視ルテ異邦人ト稅吏ト如クセヨ（ハト十七イ十）

問使徒服役ノ統ヲ保守スル所ノ制定ハ教會ニ存スルヤ

答存ス教會ノ「イエラルヒヤ」即チ神位是ナリ

問「正教會ニ神位ニ降臨スル原因ハ何ヨリシテ來ルヤ」

答「由ル而シテ此時ヨリノ綿々トシテ神品機密ヲ以テ相繼承セザル手撫ノ禮ニ由リ永續スルナリ」

答「其賜フ所ノ者使徒アリ預言者アリ福音者アリ牧師及ビ教師アリ聖徒備ルヲ得テ以テ服役ノ事ヲ行ヒ以テバリス」

問「何ノ神位ハ其權力ヲ全公教會ニ施及シ得ルヤ」

答「全地公會ナリ」

問「全地公會ノ首大ナル分區ハ何等ノ神位ニ屬スルヤ」

答「正教ノ總主教及ビ至聖ノ教務院ニ屬ス」

問 正教ノ郡縣都府ノ如キハ何等ノ神位ニ屬スルヤ

答 府主教大主教及主教ニ屬ス

問 至聖ノ教務院ハ神位ニ如何ナル階級ニ占ムルヤ

答 至聖ナル正教ノ總主教ト其階級ナ同ウス(聖務院設立書ヲ

看)

問 我等教會ニ聽從スルノ職分ヲ盡サンカ爲メ何ニ由テ教

會其教子ニ要求スル所ノ者ヲ識リ得ベキヤ

答 是レ聖書ニ由リ聖使徒ノ規則ニ由リ聖全地公會地方公

會及ヒ聖教父ノ規則ニ由リ又教會ノ定例書ニ由テ識リ

得ベシ

○第十條

問 何爲信經ニ洗禮ノ事ヲ記載スルヤ

答 蓋シ信ハ洗禮ト其他ノ機密ヲ以テ印セララル、ナリ

問 機密トハ何ゾヤ

答 機密ハ聖禮ナリ恩寵即チ神ノ救贖ノ能力ハ是ニ由テ密

々人ニ功用ス

問 機密ノ數幾何ゾヤ

答 七件

一 洗禮

二 傳膏

三 聖體

四 痛悔

五 神品

六 婚配

七聖傳

問 各々此機密ハ如何ナル功能ヲ有スルヤ

答 一洗禮ニ於テ人ハ秘密ニシテ靈ノ生命ニ重生ス

二傳膏ニ於テ靈ヲ成長セシメ及ヒ堅固ナラシムルノ恩

寵ヲ領ス

三聖體ニ於テ靈ノ培養ヲ領ス

四痛悔ニ於テ靈ノ疾病ノ改愈ヲ領ス即チ罪惡ノ赦ナリ

五神品ニ於テ救道及ビ機密ヲ以テ他人ノ靈ヲ生ミ之ヲ

養育スルノ恩寵ヲ領ス

六婚配ニ於テ結親及ビ子ヲ産ミ之ヲ養育スルヲ聖ニ

スルノ恩寵ヲ領ス

七聖傳ニ於テ靈ノ疾病ノ治愈ヲ享ケ并ニ身体ノ疾病ヲ

改愈スルノ恩寵ヲ領ス

問 然ラハ何爲凡ソ是等ノ機密ヲ逐一信經ニ掲ケスシテ唯

洗禮ノミヲ載スルヤ

答 蓋シ洗禮ニ就テ一大疑問起レリ其論タルヤ則チ異端者

ノ如キモノハ再洗ス可キニ非ズヤトノ主意ナリ故ニ此

疑ヲ釋カシガ爲ニ信經ニ載セシナリ

○洗禮

問 洗禮トハ何ゾヤ

答 洗禮ハ機密ナリ是ニ於テ神父ト子ト聖神ノ名ヲ呼唱シ

以テ信者ノ体ヲ三次水ニ浸没ス時ニ信者肉慾罪惡ノ生

命ノ爲ニ死シ而シテ聖神ニ由テ神靈聖潔ノ生命ニ重生ス

ルナリ



「人ハ水ト聖神ニ由テ生ル、ニ非レバ則チ神ノ國ニ入ル能ハズ」(三イナ五ア)

問洗禮ハ何ノ時如何シテ創リシヤ

答第一ニ「イナアン悔改ノ洗禮ヲ施シ民ニ語テ云ク當ニ夫

ノ己レニ後テ來ル者チ信ズベシ即チイイススハリスト

スナリ」(九行四)爾後イイススハリストス自ラ儀表ヲ示シ

イナアンヨリ洗禮ヲ受ケ以テ之ヲ聖ニス終ニ其復活ノ

後公然ト使徒ニ命ジテ曰ク「爾等往テ萬民ヲ誨ヒ父ト子

ト聖神ノ名ニ由テ洗ヲ施セ」ト(八トフイニ)

問洗禮ヲ執行スルニ於テ最大緊要ノ者ハ何ゾヤ

答父ト子ト聖神ノ名ニ由テ三次水ニ浸没スル是ナリ

問洗禮ヲ領セシト欲スル者ヨリ何ヲ要求ス可キヤ

答痛悔及ヒ信ナリ是故ニ洗禮ノ前必ス信經ヲ誦スルナリ

「爾等各々宜ク悔改シイイススハリストスノ名ヲ奉シテ

洗禮ヲ受クベシ罪ノ赦ヲ得セシム如是ナレバ必ス聖神

ノ賜ヲ得」(三行八ニ)

「信シテ洗ヲ受クル者ハ救ハレシ」(六ノル十ク六十)

問然ラハ小兒ヲ洗禮スルハ如何

答父母或ハ代父母ヲ信ニ由ル蓋シ父母或ハ代父母ハ後來

小兒ノ成長スルヲ待テ信ニ教導スルノ義務ヲ負擔ス

問小兒ヲ洗禮スベキ所以ハ聖書ヲ以テ示シ得ルヤ

答舊約時代ニ八日ノ小兒ニ割禮ヲ施行セリ然ルニ新約ニ

於テ洗禮ハ割禮ヲ代用スルモノナレバ必ズ小兒ニ洗禮

ヲ行スハ當然ノ事ナリ

問 洗禮ノ割禮ニ代用スル所以ハ何ヲ以テ明ニ見ルヤ

答 使徒ガ信者ニ云レテ言ク以テ大曰ク爾等手ヲ以テ

洗禮ノ割禮ヲ所ル割禮ヲ受ク即チハ割禮トスル割禮ヲ以テ

肉身ノ罪ヲ去ル又洗禮ヲ以テ彼ト與ニ同ク罪ヲ

(十一ノ二)

問 何爲洗禮ノ時代父母ヲ要スルヤ

答 被洗者ノ信ニ代テ教會ノ前ニ保證シ又洗禮ノ後自ラ之

時看視シテ其信ヲ固メテカ爲ナリ(テニシイアレチキト)教會ノ神位論ニ章參考

問 被洗者詛誓ヲ行フハ何ツヤ

答 惡魔ヲ己ヨリ驅逐スルカ爲ナリ蓋シ惡魔ハアダムガ罪

ヲ行ヒシ以來凡ク接近シテ權力ヲ擅ニシ人ヲ管理ス

ルハ恰モ自己ノ囚人奴隸ヲ處スルカ如ク

使徒ガ云ル曰ク凡シ惡魔ニ干渉サズ人々ヲ行ク所ハ此

世ニ俗ニ循ヒ空ニ在テ權ヲ秉ルヲ君ニ從フ即チ今信從

テ被洗者ニ行フ(ニノ二)

問 詛誓能力ノ在ル所以ハ何ツヤ

答 其能力ハ祈禱及ヒ信ヲ以テ(テニ)バリストスノ名ヲ

呼ブニテ被洗者ニハ信者ニ我名ニ託シテ魔ヲ逐フ

ノ許約ヲ賜ヘ(テニ)

問 此詛誓ノ時并ニ他ノ事件ニ用ヒル十字號何ナル意

ヲ有スルヤ

答 十字架ニ釘セラレタルネイスクリスチヤニ信スル手

ニ以テ十字號ヲ書ス誠ニ其他ノ様子ヲ表スハ口ヲ以テ



問洗禮ノ後人罪ヲ犯スアラハ如何

答其罪タル未キ洗禮ヲ受ケ聖ル者ニ比スレバ尙ホ重シ蓋  
シテ神ノ善ヲ行フニ特別ニ扶助ヲ受ケテ而シテ之ヲ絶棄  
セシナリ

「若シ主即チ我教主イエスキリスチニ其識ルコ因テ世  
ノ汚ヲ脱シ復テ世ノ汚氣累サレ而シテ之ニ服セバ即チ其

後患先時ニ較ブレバ尤モ劇烈(二ノサ後)

問然レモ洗禮ノ後罪ヲ犯セシ者ノ爲ニ赦罪ヲ得ルノ方法  
アラヤシキヤ

答赦罪ノ方法ハ乃チ痛悔ナリ

○傳福音ノ法ハ神ノ恩賜ニ依リテ

答傳福音ノ機密ナリ是ニ於テ聖神ノ名ニ由リ聖膏ヲ以テ信  
者ノ身体ノ諸部ニ膏ヲ塗ル時ニ信者聖神ノ恩賜即チ靈魂ノ

生命ヲ長堅ナラシムルモノヲ授ラルナリ

問聖書ニ此機密ヲ云フ(三ノサ)

答使徒ノ云フ此機密ノ内部ノ功用ヲ言ヘルアリ曰ク爾  
等既ニ聖主ヨリ膏ヲ受ケ而シテ知ラザルナシ爾等彼ヨリ

受ル所ノ膏ハ爾等ニ衷ニ存ス故ニ爾等人ニ教ヲ受ケル  
ヲ庸ユルナシ乃チ此膏爾等ニ凡事ヲ教ニ且眞ナリ而シ

僞ヲラズ則チ爾等必ズ恒ニ彼レニ居ル此膏爾等ニ教ル  
所ノ如シ(二ノサニ十七)

使徒パウロノ謂ル亦斯ノ如シ曰ク我等ト爾等ハリスト  
ズニ堅固ニシ且我等ニ膏ヲ受ケ者ハ神ナリ彼レ亦印ヲ我

等ニ加ヘ聖神ノ質ヲ我心ニ賜フ(ヨハネ二十一ノ二一)  
傳膏ノ時聖神恩賜ノ印記ト唱フルノ言モ亦彼處ヨリ採  
ラレタルナリ

問聖書ニ傳膏ノ外部ノ功用ヲ載スルヤ

答使徒イナアンノ言ハ可見ノ禮ニモ亦干係スト雖也尙ホ

著明ナルハ使徒被洗者ニ聖神ノ恩賜ヲ授ケン爲コ手撫

禮ヲ用ヘタルナリ(行實七ノ十)使徒ノ後嗣之ニ易テ傳

膏ヲ採用セリ之カ模範タル者ハ舊約ノ時代ニ採用セシ

所ハ傳膏即チ是ナリ(エギペト出記三十ノ二十五、第三列王記一

ノ三十九、テイチニシイアレナバギトノ教會

神位論、四

問聖膏ニ就テ適ニ何ヲ謂フヤ年ヤ

答膏ヲ聖ニスルハ聖神ノ恩賜ヲ授ケンカ爲メニ自ラ手撫

禮ヲ施行セシ所ノ使徒ノ後嗣即チ最上ノ神品ニ由テ做  
行セラル、ナリ

問願ニ膏スルハ何意ヲ示スヤ

答智慧或ハ思想ヲ聖ニスルコナリ

問胸ニ膏スルハ何ツヤ

答心情或ハ希望ヲ聖ニスルコナリ

問目耳口ニ膏スルハ何ツヤ

答感情ヲ聖ニスルコナリ

問手足ニ膏スルハ何ツヤ

答「ハリスティアモン」ノ業事及ビ凡ソ行狀ヲ聖ニスルコナリ

○聖體

問聖體トハ何ツヤ

答聖體ハ機密ナリ是ニ於テ麵包ト葡萄酒ノ外形ニ於テ信者永生ノ爲ニハリストスノ具体眞血ヲ領食ス

問此機密ニ如何シテ創立セラレシヤ答イリスズハリステ苦ヲ受クルノ前初メテ此機密ヲ施行シ預メ以テ斯中ニ已レノ救贖ノ苦難ノ活象ヲ顯ハシ

之ヲ使徒ニ領セシメ且使徒ニ誦ムルニ此機密ヲ恒ニ行フヲ以テセリ

問聖體機密ハ「ハリステアコン」ノ神事ニ如何ナル關係ヲ有スヤ答此機密ハ「ハリステアコン」ノ神事ノ最重至緊ノ部分タル

ハカリマシ

問聖體機密ヲ施行スル神事如何ニ稱スルヤ答

答「リトルギヤ」ト稱スルハ何意ゾヤ

問「リトルギヤ」ト云ルハ何意ゾヤ答公衆神事ノ義ナリ然レトモ特ニ「リトルギヤ」ノ稱ハ聖體機

密ヲ施行スルノ神事ニ專用ス

問神事ヲ施行スルニキ場所ニ就テ何ヲ見留ムベキヤ答神事ヲ施行スル須ク聖堂ニ於テス可シ而シテ聖案若シハ

代案アンライミンヌハ大主教アレヒエニ由テ聖セラル、ヲ要ス即チ此上ニ機密

ヲ施行スルナリ

問何爲聖殿會議堂ト稱スルヤ答蓋シ是ハ祈禱及ヒ機密ノ爲メ教會ヲ組織スル所以信徒

集會スル所也

答蓋シイイススハリストス王トシテ秘然此ヨリ居ノバナナリ  
問神事ノ至緊重要ノ次序ハ何ツヤ

答第一ニ機密ノ爲ニ物料ヲ備フルコト第二ニ機密ヲ領スル

ニ信者ヲ備フルコト第三ニ機密ヲ施行スル事ナリ

問機密ノ爲ニ物料ヲ備フル神事ノ部分ヲ何ト稱スルヤ

答「プロスコミデーヤ」ト云フ

問「プロスコミデーヤ」ト云ルハ何意ツヤ

答奉獻ノ義ナリ

問何爲神事ノ第一ノ部分ヲ斯ク稱スルヤ

答此稱ハ往昔「ハリスティアニオン」聖体機密ヲ行フガ爲メ例必

ス聖堂ニ麵包ト葡萄酒ヲ持參セシヨリ出テ來リシナリ

是故ニ亦麵包ヲ「プロスコミデーヤ」ト稱ス譯スレバ供物ノ義ナ

リ

問神事ノ一部ナル「プロスコミデーヤ」ハ何等ノ事ヲ以テ組

織スルヤ

答「イイススハリストス」ノ誕生及ヒ苦難ニ干係セル預言預

象ヲ記臆シ一ハ又既ニ成行セル事情ヲ記臆シ以テ供物

ヨリ機密ヲ做行スルニ必須ナルノ部分ヲ取出シ又葡萄

酒ノ必須ノ部分ヲ水ニ和シテ聖器ニ配分ス是時ニ當テ

聖務執行者ハ全教會ヲ記念シ讚美タル聖人ヲ讚揚シ生

死者ノ爲メ特ニ秉權者ノ爲メ并ニ篤信熱切ニシテ「プロ

スコミデーヤ」即チ供物ヲ持參セシ者ノ爲ニ祈禱ス

問機密ノ爲ニ如何ナル麵包ヲ要スルヤ

答眞成ノ麵包機密ノ聖重ニ適應シ并ニ「イイススハリスト

及ビ使徒ノ採用ヲ賜ヒ、食物ヲ要ス即チ發酵シタル純  
 潔ナル小麦ノ麵包ヲ製スルニ  
 問 特ニ聖体ヲ行フカ爲シ麵包唯ニ食用ニ用ルハ何ノ意義ヲ  
 示スヤ  
 答 是ヲ以テ使徒ノ講明スルガ如ク「餅既ニ唯一ナリ而シ我  
 等多シト雖モ乃チ一體ニ蓋シ我々等悉ク一餅ヲ共分ス  
 ル」(コリント七前書)ノ意ヲ示スルナリ  
 問 何爲聖体ノ爲ニ準備セラレタル麵包ヲ羔ト稱スルヤ  
 答 蓋シ是レ苦ヲ受ケタルホイスラスガリスチオスチ其中ニ像  
 ル猶ホ舊約ニ於テ「パスス」ノ羔ヲ以テイスラスガリスチ  
 大ニ像ルガ如ク然リ  
 問 「パスス」ノ羔トハ何ゾヤ

答 イスライル民エギペトノ滅亡ヨリ贖ハレタルヲ記念ス  
 ルカ爲メニ神ノ命ニ由テ屠殺シテ食ヒシ所ノ羔ナリ  
 問 何爲聖体機密ヲ行フニ葡萄酒ヲ水ニ和スルヤ  
 答 蓋シ凡ソ此聖禮ハ「クリストス」ノ苦難ニ擬シテ組織整成  
 セシ者ナリ而シテ「イスラス」ガリスチ苦難ヲ受クル時其  
 刺通サレタル脇ヨリ血ト水ト流出セシヲ以テナリ  
 問 信者ヲ機密ヲ享クルニ準備スル神事ノ部分ヲ何ト稱ス  
 ルヤ  
 答 往昔之ヲ啓蒙者ノ神事ト稱ス蓋シ領洗者即チ聖体ヲ領  
 シルヲ許サル、者ノ外ニ啓蒙者即チ洗禮ニ準備セラル  
 ル者及ビ聖体ヲ領クルヲ許サレザルノ痛悔者モ亦與テ  
 之ヲ聞クヲ得タレバナリ



問 神事ノ部分ハ何ヲ以テ創ルヤ

答 至聖三者ノ國ヲ頌揚讚美スルヲ以テス

問 神事ノ此部分ハ何等ノ事ヲ以テ組成スルヤ

答 祈禱詠歌使徒ノ書及ヒ福音書ヲ讀ムヲ以テス

問 是レ何ヲ以テ終ルヤ

答 啓蒙者ニ命ジテ聖堂ヲ出テシムルヲ以テス

問 聖体機密ヲ實行スル神事ノ部分ヲ何ト稱スルヤ

答 信者ノ神事ト稱ス蓋シ唯信者即チ洗禮ヲ領セシ者ノミ

此神事ニ與カルノ權ヲ有ス

問 神事ノ此部分ニ於テ最重緊要ノ行事ハ何ゾヤ

答 イイススハリストス機密ヲ創立セル時ニ云ハレタル言

ヲ發スル事ナリ曰ク「取リテ之ヲ食ヘ此レ乃チ我身ナリ

爾等皆之ヲ飲メ蓋シ此レ乃チ我新約ノ血ナリ」(マコトブエ)

廿八七) 而ル後チ聖神ヲ呼ビ禮物即チ信者ノ持參セシ麵

包ト葡萄酒ヲ祝福スル事ナリ

問 何爲是レ緊要ナルヤ

答 蓋シ此行事ノ時麵包ト葡萄酒ハ化シテハリストスノ真

体トナリ及ビハリストスノ真血ニ變化スルナリ

問 變化トハ何ノ意義ヲ示スヤ

答 東總主教ノ正教講明ニ曰ク變化ト云ル言ヲ以テ麵包ト

葡萄酒ハ主ノ体ト血ニ變成セラル、所ノ倣樣ヲ明スコ

非ズ蓋シ此事ニ至リテハ神ヨリソ外カ誰モ曉知スルコ

能ハザルナリ然レモ眞實無妄確然ト麵包ハ主ノ眞体ト

ナリ葡萄酒ハ主ノ眞血トナル事ノミヲ示ス

ダマスクノイチャン主ノ至聖至潔ナル機密ノ事ヲ書ス  
 ル如斯シ曰ク「体ハ乃チ實ニ神性ト相結合シ而シテ聖處女  
 ヨリ出生ヲ取リシ者ナリ昇天セシ体ハ復ビ天ヨリ降ル  
 ニ非ズ乃チ麵包及ビ葡萄酒ハ化シテ神ノ体血ニ變成ス  
 ルナリ若シ汝其做様如何ヲ尋ント欲セハ則チ是レ聖神  
 ニ由テ成ル猶生神女ヨリ聖神ニ由テ自己ノ肉體ヲ組成  
 セシト同キ做様ナリト聞テ満足セサルベカラズ其他我  
 等ハ識ル能ハズ然ルニ唯神ノ言ハ眞ナリ實ナリ及ヒ全  
 能ナリ其變成ノ做様ハ經驗スベカラズ(四書十三  
 章七節)  
 問聖體機密ヲ領セント欲スル各人ヨリ殊ニ何ヲ要求スル  
 ヤ  
 答神前ニ宜シク自己ノ良心ヲ省ミ罪ヲ痛悔シ以テ是ヲ淨

ムベシ此ニ幫助スル者ハ乃チ禁食祈禱ナリ  
 「人宜シク自ラ省ミ則チ此餅ヲ食ヒ此杯ヲ飲ムベシ蓋シ  
 宜ニ合ハズシテ食飲スル者即チ其食飲ハ己ノ罪ヲ定ム  
 ルヲ致ス注ソ体ヲ辨セザルヲ以テ(コリニハ二九章十一  
 節)  
 問此ハ親クイニススハシニスト以テ結合シ又彼レニ在テ永  
 生ヲ享領スル者トナシナリ  
 「我肉ヲ食ヒ我血ヲ飲ム者ハ我ニ居リ而シテ我モ亦彼ニ居  
 ル(ヨハ五章六章)  
 「我肉ヲ食ヒ我血ヲ飲ム者ハ永生アリ(四章十  
 節)  
 問聖體機密ヲ屢々領食シ可キヤ  
 答往昔ハ聖體ヲ領食セリト雖モ現今ハ

斯大機密ヲ領セシト欲シ唯ニ之命爲シテ自記ヲ備  
 清廉潔白ノ行狀ヲ爲ス者多カラズ故ニ教會ハ慈母ノ  
 聲ヲ以テ敬虔ノ行狀ヲ熱意ヲ進者ニ向テ教父ノ前ニ懺  
 悔シ一年ニ四次或ハ毎月ハリストスノ体血ヲ領食スル  
 ナル命ズ而シテ凡ソ公衆ノ爲ニ必ク一年ニ一次懺悔領食  
 スルヲ命スルナリ(正教宗門上篇 第九十問答)  
 問 神事ヲ唯聽聞スルノミコシテ聖体ヲ領セザル者ハ之ニ  
 共與スルヲ得ルヤ  
 答 彼等ハ祈禱ヲ以テ信ヲ以テ殊更ニ是ヲ行フヲ我ニ記ス  
 ベシ(九廿二)ト命セシ所ノ我注出ルニハハリストスヲ  
 不斷記臆スルヲ以テ神事ニ共與スルヲ得且必ス共與ス  
 ベシ

問 神事ノ時福音書ヲ持シテ出ルハ道ニ何ヲ記臆スベキヤ  
 答 イイススハリストス福音ヲ宣教スルニ現出シタルヲ記  
 臆スルナリ是故ニ福音書ヲ讀ム時ニ當テ恰モ我等ハ  
 イイススハリストスヲ親見シ而シテ之ヲ聽聞スルガ如キノ  
 謹心敬恭ヲ有セザルベカラズ  
 問 神事ノ時聖臺ニ於テ準備セラレタルノ禮物ヲ持シテ出  
 ル時何ヲ記臆スベキヤ  
 答 イイススハリストスガ十二有餘門徒ノ天使己ノ王トシ  
 テ彼ヲ護衛セシメシタルモ屠戮ニ定メテ以テ爾等犧牲ノ  
 如ク自由ニ苦難ニ出行シタルヲ記臆スベシ  
 諸王ノ王及ヒ諸主ハ主屠戮セラルコト來ル(大安息日ノ神事ノ歌)  
 問 機密ヲ施行スル時ト聖務執行者聖臺ニ於テ聖体ヲ領ス

ル時ハ何チ記應カヘキヤ  
 答 イイスズハリストス自テ僕徒ト行ヒハ曉登苦難及ビ死  
 并ニ埋葬チ記應スベシ  
 問 其後幕ヲ撤シ帝門ヲ開キ聖禮儀ヲ顯ハス何チ像  
 答 復活後イイスズハリストス自テ現出スルヲ示ス  
 問 最後ニ聖禮物ヲ民ニ顯ハシ然ル後之ヲ藏スルハ何チ像  
 答 イイスズハリストスノ天ニ昇ルヲ示ス  
 問 ハリストスノ教會ニ聖體機密ヲ用フルハ永續スベキヤ  
 答 必スハリストスノ來臨ニ迄ニ永續スベシ使徒パウロ  
 ノ言ル如シ爾等隨時此餅ヲ食ヒ此杯ヲ飲ミ乃チ主ノ死  
 チ表シ其來臨ニ迄ニ

十一ノ二ノ六

○痛悔  
 問 痛悔トハ何ソヤ  
 答 痛悔ハ機密ナリ是ニ於テ己ノ罪ヲ認ムル者司祭ヨリ顯  
 = 赦罪ノ言ヲ受クル時イイスズハリストス自ラ冥々ノ  
 中ニアリテ其罪ヲ釋クナリ  
 問 此機密ノ因テ起ル所何ニアルヤ  
 答 施洗者イハアン悔改ハ洗禮ヲ傳ヘテ罪人赦ヲ得セシム  
 之ニ就ク者各々己ノ罪ヲ認ムルニ  
 トス使徒ニ罪ヲ赦スル權ヲ許給フテ曰ク爾等地ニ繫ク  
 所ノ者ハ亦天ニ繫カレ爾等地ニ釋ク所ノ者ハ亦天ニ釋  
 カレシムハトフエト  
 而ノ其復活ノ後實ニ此權ヲ彼等ニ與  
 ヘテ曰ク爾等聖神ヲ受分ヨ凡ソ爾等釋カ所ノ其罪ハ則

チ之カ爲ニ釋サレ爾等定ムル所ノ其罪ハ則チ定メラル  
(イサア三三)

問 痛悔者ヨリ何チ要求スベキヤ

答 前罪ヲ痛悔スルノ心情自己ノ生命ヲ改修セシムルノ

決心ハリストス夫信ニ其仁慈ヲ願望スル事等ナリ

「神ニ循フノ憂ハ無悔ノ悔改ヲ生シ救ヲ得ルヲ致ス」  
(ヨリ)

「但テ惡人其惡行ヲ轉シテ合法循理ノ事ヲ行ハハ則チ彼  
ノ必ズ之ニ因テ生テ得」  
(三十三ノ九)

「諸預言者亦斯人即チイイススハリストスノ爲ニ証シテ  
曰ク凡ソ之ヲ信スル者其名ニ由テ罪ノ赦ヲ得ベシト」  
(十三ノ四)

「後世」  
(七)

「但テ惡人其惡行ヲ轉シテ合法循理ノ事ヲ行ハハ則チ彼  
ノ必ズ之ニ因テ生テ得」  
(三十三ノ九)

「諸預言者亦斯人即チイイススハリストスノ爲ニ証シテ  
曰ク凡ソ之ヲ信スル者其名ニ由テ罪ノ赦ヲ得ベシト」  
(十三ノ四)

問 其他痛悔ニ準備シ及ヒ之ヲ扶助サルソ方法アラザルヤ

答 禁食祈禱ハ乃チ其方法ナリ

問 聖教會ハ又特別ノ方法ヲ用テ以テ痛悔セシ罪者ノ良心

ヲ清淨平安ナラシメザルヤ

答 エビテイミヤ乃チ斯ノ方法ナリ

問 エビテイミヤトハ何ツヤ

答 此言譯スルハ禁誡ノ義ナリ  
(ニソフ後書) 此名ヲ以テ觀ル

ニ罪過ニ應シテ痛悔者ニ特別ノ敬虔ナル行事及ビ禁制

ヲ命シ以テ罪惡ノ不義ヲ消滅シ并ニ罪惡ノ習癖ヲ克服

スルヲ致ス例ハ衆人一般ノ爲ニ設クル所ノ禁食ノ外

更ニ禁食ヲ命ス又重罪ヲ犯ス者ニ至テハ定リタル期日

ニ迄ルマテ聖体ヲ領スルヲ禁スルナリ



○婚配

問 婚配ニ何ヲ要スルニハ  
 答 婚配ハ機密ナリ是ニ於テ新娶者新婦相互ニ夫婦ノ貞實  
 ナ守ヲシヨテ自由ニ於テ司祭及ビ教會ニ前ニ納ス時ニ  
 司祭ハバリストスト教會ニ神妙ナル結合ニ擬シテ其  
 夫婦ノ結合ヲ祝福シ并ニ潔白ナル同心ノ恩寵ノ降臨ヲ  
 請求シ神以祝福夫受胎見テ産ミ且之ヲ正教ノ聖道ニ循  
 テ養育スルヲ致サシムルヲ期スルニ在リ  
 問 婚配ノ機密タル何ヲ以テ明ニ見ルベキヤ  
 答 使徒コリントノ言ヲ以テス曰ク人宜ク其父母ヲ離レ其妻  
 ニ膠合シテ二者一体トナルベシ此乃チ奧義ノ大ナル者  
 我レ之ヲ言フハ以テハリストスト教會トチ指ス（エフニス  
五ノ三）

十一三

問 人皆婚配ヲ領スベキヤ  
 答 然ラズ若シ純然貞潔ヲ固守スルヲ得ハ其貞潔ハ結親ス  
 ルニ比スレハ更ニ愈ルナリ  
 イニススハリストスト是事ヲ謂テ曰ク人皆此言ヲ納ルハ  
 能ハズ惟稟賦者之ヲ能セシ此言能ク之ヲ納ル者宜シ  
 ク之ヲ納ルベシ（マコトフイ十九）  
 又使徒謂ク我レ未婚者及ビ孀婦ニ語テ云ク若シ恒ニ我  
 レノ如クナレハ則チ善ナリ若シ自ヲ禁スル能ハザレハ  
 嫁娶スル可キヤ未婚者ハ主ニ屬スルノ事何如シテ主ヲ  
 悦ビ若シ可キヤテ慮ル己婚者ハ世ニ屬スルノ事如何シ  
 テ妻ヲ悦ビシハ（コリント一七）行フ不嫁者ハ

尤モ善ヲ行フナリ（コリント前書三章八九）

○聖傳

問 聖傳トハ何ツヤ

答 聖傳ハ機密ナリ是ニ於テ聖書ヲ以テ病者ノ体軀ニ膏シ

是カ爲ニ神恩ノ降臨ヲ呼求シ以テ靈魂及ヒ身体ノ劣弱

ヲ醫スヲ致ス

問 此機密ノ因テ起ル所何ニアルヤ

答 使徒ニ由ル使徒イイヌス（コリント前書三章六）ヨリ權ヲ受ケ膏ヲ

以テ病者ニ膏シテ多ク之ヲ醫セリ（マルコ六）

使徒此機密ヲ以テ教會ノ聖務執行者ニ傳フ使徒イアコ

ブ言ヲ以テ見ルベシ曰ク爾中病者アラハ會中ノ長老

ヲ請フベシ彼レ主ノ名ニ託シテ之ニ膏スルニ膏ヲ以テ

シ且之カ爲ニ祈禱スベシ夫レ信ニ由ルノ祈禱ハ病者ヲ  
救フニ主將ニ之ヲ起サシト汝若シ罪アラハ亦將ニ赦  
サレシトス（イアコフ五）

○第十一條

問 信經ニ所謂我等望ム死者ノ復活トハ何ツヤ

答 凡ソ死者ノ身體神ノ全能ナル功用ニ依テ再ヒ其靈魂ト

相合シテ蘇生シ而シテ神靈不死ノ者トナルヲ謂フナリ

種ハ乃チ血氣ノ體ニ屬シ生ハ乃チ靈ノ體ニ屬ス（コリント前書十五）

十四

「此ノ可壞ノ者必ズ將ニ之ニ衣スルニ不可壞ヲ以テシ可

死者ハ必ズ將ニ之ニ衣スルニ不可死ヲ以テス（コリント前書十五）

三十



問地中ニ敗壞解散セシ体如何シテ復活スルヤ

答神ハ大初ニ體ヲ造ルニ地ヲ以テセシカ故地中ニ解散セシ體ヲ復起スルモ亦能ハザルナシ使徒パウエル種キタル苗種地中ニ敗壞スルト雖モ草木ノ是ヨリシテ萌生スルノ比喻ヲ以テ右ノ理由ヲ講明ス曰ク爾チ種ク所若シ先ツ死セザレバ則チ生テ得ス(コリント前書三十六章)

問萬民實ニ復活スベキヤ

答凡ソ死セシ者實ニ復活ス然ルニ生存シテ終復活ノ期ニ至ル者ハ現今粗糲ノ體瞬間ニ變シテ神靈不死ノ者トナルナリ

「我等皆將ニ變シトスルニ非ス乃チ皆將ニ化セシトス頃刻瞬息ノ間ニ於テ末ノ筵响ナリ蓋シ筵將ニ响シトス死

者將ニ變シテ壞ルニカラサラントス且ツ我等將ニ化セシ

(コリント前書十五)

問何ツ時死者將ニ復活セントスルヤ

答此ソ有形世界ノ終末ニ於テス

問是ニ由テ之ヲ觀レハ世界モ亦終ルベキヤ

答此ノ可壞ノ世界變化シテ不可壞ノ者トナルヲ以テ終ル

ナリ

「造テ受クル者自ラ必ズ敗壞ノ奴スルヲ釋ルヲ得而シ

爾將ニ神子ニ得ル所ノ有榮ノ自主ニ入ラントス(ロマ八)

「我等其所許ニ循テ新天新地ヲ望ム義其中ニ居ル(後書三

三)

問世界ハ何ヲ以テ變化セラルベキヤ

答火ヲ以テス

「今ノ天地ハ神ノ命ニ由テ存シテ以テ火ヲ待チ置テ審判ノ日及惡人淪亡ノ日ニ至ル」(書三ノ七後)

問死者ノ靈魂総復活ニ至ルマテハ其機能如何ゾヤ

答義人ノ靈魂ハ光明平安ニシテ而シテ永遠福樂ノ初チ感覺ス罪人ノ靈魂ハ則チ之ニ反ス

問何爲義人ノ靈魂死後直ニ完全ナル福樂ヲ得ザルヤ

答蓋シ所行ニ應スルノ完全ナル報賞ハ身体復活シ神ノ終末ノ審判ノ後完全備具セル人ニ授與スルヲ預定セラレ

使徒パウエル曰ク「今ヨリノ後義ノ冕アリテ我カ爲ニ備藏ス主即チ公義ノ審判者乃日ニ於テ必ス之ヲ以テ我ニ賜

ハシ獨リ我ニ賜フノミナラス亦凡ソ彼レノ顯著ヲ慕フ者ニ賜ハシトス」(テモフエ後 書四ノ八後)

又曰ク「我等必ス悉クハリテトスノ臺前ニ立チ各々其身ニ在ル所爲ヲ受ルヲ致ス其爲ス所ノ者或ハ善或ハ惡ニ循フ」(コリソフ後 書五ノ十後)

問終末ノ審判ノ前義人幸福ノ初チ感覺スルハ何ヲ以テ證スルヤ

答「イスラエル人自ラ此喻ヲ以テ曰ク「我レシ證ニ由ルニ義人ラザル死後直ニ昇ラズムノ懷ニ携ラレシナリ」

(ルカ十六セニテ看ム)

問此ニ幸福ノ初チ感覺スルトハイイテハリスト「ス」眞答面ヲ親見直視スルノ謂非ズヤ

答「將ニ聖人幸福ノ初キ感覺スル是也使徒パウロ之ヲ解明  
 問「神ヲ信ス」ト雖モ未悔改ニ符合セルノ菓ヲ結ブ一能ハズ  
 答「彼等ヲ助テ福樂ノ復活ヲ獲セシムルヲ得則チ彼等ノ爲  
 ニ新禱ヲ行ヒ并ニ特ニハリストスノ体血ノ無血祭ヲ献  
 シテ新禱ヲ行ヒ及ヒ彼等ヲ追想シテ信ヲ以テ慈善ヲ行  
 ラテ以テス

問「此教道ハ何ニ基クヤ」  
 答「公教會連綿相繼承セル傳ニ基ク而シテ其源ハ亦舊約教  
 會ノ中ニ見ルナリイウダマッカウエイ死セシ軍士ノ爲ニ祭  
 ヲ献ス(マッカウエイニ書)死者ノ爲ニ新禱スルハ恒ニ神事ノ緊

要ノ一部分アリ而シテ其源因ヲ尋レバ使徒イアコフノ神  
 事ヨリ始マレル者ナリイテルサリムノ聖キリル曰ク  
 「聖ナル且畏ルベキ祭奠ヲ供スルノ時ニ當テ新禱セラル  
 ル、所ノ靈ハ己ニ至大ノ裨益ヲ被ラントス(機密指南)聖  
 大ワシリイ五旬節ノ祈禱ニ曰ルアリ「地獄ニ墜カレシ者  
 ナシテ平安弛緩自由ヲ獲セシメント欲シテ彼等ノ爲ニ  
 主ニ愛憐ヲ祈リ祭ヲ献セバ主之ヲ我等ヨリ受ケ給ハン  
 ◎第十三條

問「來世ノ生命トハ何ゾヤ」  
 答「死者ノ復活及ヒリテ死後審判以後ノ生命ヲ云フナリ  
 問「此生命ハ如何ナルヤ」  
 答「神ハ傳テ神ヲ愛シテ尊偉ヲ爲ス者ハ幸福歡樂ノ生命ヲ

受ク此幸福歡樂ハ我等今之ヲ想像スルモ能ハサル所ナ

「將ニ若何セントス尙ホ未露ハレズ」(イコリニ)

「我識ルハリズトズニ在ル者一人掣ヘラレテ樂園ニ至リ  
不可道ノ言ヲ聞ク乃チ人ノ當ニ語ルベカラザル所ノ者  
ナリ」ト使徒パウエル曰ヘリ(コリント後書)

問スル幸福ハ何クヨリシテ生シ來ルヤ

答光明榮光ニ在ルノ神ヲ明見シ之ト體合スルニ由ルナリ  
「我等琉璃ニ由テ見ルルヲ明ナラズ彼時ニ迄テハ則チ互ニ  
相靚面ハ今我知識未全カラズ彼時ニ迄テハ則チ將ニ知  
ルヲ主我ヲ知ル如ク然ラント」(コリント前書)

「斯ノ時ヤ義者將ニ日ノ如クノ其父ノ國ニ在テ光輝セン

トス」(マコト四ノ十三)

「神ハ萬物ニ萬物ヲルチ致ス」(コリント前書)

問身体モ亦靈魂ノ幸福ニ共與スルチ致スヤ  
答身体モ亦榮ヲ受クルチ致ス猶ホイイススハリストス  
ツナル山ニ於テ變容セシ体ノ如ク然リ

「種ハ辱ナル者ナリ躋ハ榮ナル者ナリ」(コリント前書)

「我等己ニ塵ニ属スル者」即チアダム」ノ狀ヲ戴シカ如ク亦  
將ニ如是ク天ニ属スル者」即チ我主イイススハリストス  
ノ狀ヲ戴カントス」(コリント前書)

問萬民將ニ等シク幸福ヲ受ケントスルヤ

答然ラズ幸福ノ等級ハ人此世ニ在テ信愛及ヒ善行ヲ操行  
セルノ多少厚薄ニ循テ相異ルナリ

「日一榮アリ月則チ別ニ一榮アリ星宿ハ亦別ニ一榮アリ  
蓋シ此星ノ榮彼星ノ榮ニ異リ死者ノ復活モ亦然リ」  
前書十五ノ四  
十一四十二

問然ラハ不信不義ノ徒如何ニ措置ヒラルヤ

答彼等將ニ永遠ノ死即チ言チ易テ言ヘバ惡魔ト借ニ永火  
永苦ニ付セラレントス

「凡ソ曾テ生命ノ書ニ録スルヲ受ケザル者ハ亦火坑ニ投  
セラレ」(黙示録廿)

「此レ乃チ第二次ノ死ナリ」(十節)

「爾等祖ヲ受クル者我ヲ離レテ永火ニ入レ乃チ魔鬼及ヒ  
其使ノ爲メニ備フル者ナリ」(マハトス二四七)

「此人必ス往テ永刑ニ入リ唯義者永生ニ入シ」(九節十)

「寧ロ一目ニソ神ノ國ニ進ミ兩目ヲ有テ地獄ノ火ニ投ス  
ル勿レ彼ニ在テ蟲死セズ火滅セズ」(マ七四ノ四)

問何爲罪人ハ斯ク嚴重ニ處セラルヤ

答神ハ彼等ノ淪亡ヲ欲スルカ故ニ非ズ乃チ彼等自ラ淪亡  
ス則チ彼等眞理ノ愛ヲ納レ以テ救ヲ得ルヲ致サ、ルニ  
因ル」(ソニノ十後)

問死、復活、終末ノ審判永福及ヒ永苦ヲ思念スルハ何等ノ裨  
益ヲ我等ニ來スヤ

答是等ヲ思念スルハ我等ヲ扶ケ罪惡ヲ制シ地上物ニ拘泥  
スルノ偏情ヲ絶タシム又我等ヲ慰テ以テ地上ノ福樂ヲ  
節スルヲ致ス又我等ヲ懲慝シテ靈體ノ清淨潔白ヲ守リ  
神ヲ爲メ又永遠ノ爲ニ生テ度リ以テ永遠ノ救贖ヲ獲ル

ヲ致サシムルナリ... 我々等信者確然ト神恒ニ我救贖ヲ慮リ而テ其許約セシ幸...

正教訓蒙卷之三

望ヲ論ス

○「ハリスタイアコン」ノ望及ビ其基本方法如何ヲ論ス

問「ハリスタイアコン」ノ望トハ何ゾヤ

答我等信者確然ト神恒ニ我救贖ヲ慮リ而テ其許約セシ幸

福ヲ賜ハンコヲ信用シ以テ神ニ倚テ心ヲ安スルヲ謂ナ

問「ハリスタイアコン」ノ望ノ因テ基ク所ハ何ゾヤ

答主イエスキリスハリストスハ乃チ我倚望或ハ我望ノ本源ナ

リ(タイモフエイ前)

「イエスキリスハリストス」ハ顯現ノ時將ニ獲ントスルノ恩寵ヲ

全望大ニシ(ハト十三前)

問 救贖ノ望ヲ得ルノ方法ハ何ツヤ

答 是ヲ得ルノ方法ハ則チ左ノ如ク

第一ニ祈禱ナリ

第二ニ幸福ノ具教及心誠心此教ニ循從スルコトナリ

○祈禱

問 祈禱ハ救贖ヲ得ル方法タルコト聖書ニ證明スルヤ

答 イイススハリスト自ラ所望ヲ得ント欲セバ祈禱ヲ以

テスベキヲ言ヘリ曰ク「爾等凡ソ我名ニ托シテ父ニ求ム

ル所ノモノ我必ズ之ヲ行カシメ父ヲシテ子ヲ以テ榮ヲ受

ケシコトナリ」(イオハ十三)

問 祈禱トハ何ツヤ

答 智慧ト心情ヲ神ニ仰向スルコトナリ而シテ外ニ表スニ

人神ニ對シテ恭敬ノ言ヲ發スルヲ以テス

問 「ハリステイアノン」智慧ト心情ヲ神ニ仰向シ以テ何ヲ爲ス

ベキヤ

答 第一ニ神ノ完全備具ヲ頌揚スベシ 第二ニ神吾人ニ

恩惠慈愛ヲ垂レ賜フヲ感謝スベシ 第三ニ神ニ自己ノ必

須緊要ナルモノヲ求ムベシ 是故ニ祈禱ノ大要三種アリ

讚揚感謝及ヒ求望ナリ

問 發言セズシテ祈禱スルヲ得ベキヤ

答 然リ發言セズ唯智慧ト心情ヲ以テ祈禱スルヲ得例ヘバ

モイセイノ紅海ヲ經過スル前爲シテ視テ知ルベシ

出記十四

問 斯ル祈禱ハ別ニ異稱生有セザルヤ

答斯ル祈禱ヲ稱シテ必靈合祈禱或ハ智慧ト心情ノ祈禱ト  
 稱ス約シテ之ヲ心中ノ祈禱ト云フ又之ヲ反シテ祈禱ス  
 ルニ言語を發シ或ハ種々敬恭ニ儀容ヲ表スヲ指シテ口  
 上ノ祈禱或ハ外貌ノ祈禱ト云フ又之ヲ爲スヲ得ベキヤ  
 問心中ノ祈禱ナク唯外貌ノ祈禱ヲ爲スヲ得ベキヤ  
 答是ヲ爲スヲ得人若シ省察熱切ノ心ナク徒ニ祈禱ヲ發ス  
 ル則チ是ナリ  
 問外貌ノ祈禱ノミチ以テ恩寵ヲ享ケルニ充分ナルヤ  
 答是レ恩寵ヲ享ケルニ充分ナク兼テ心ヲ充テテ心中ノ祈  
 禱ナク徒ニ外貌ノ祈禱ヲ爲スハ却テ神ヲ譴怒セシムル  
 ナリ  
 神自ラ斯ル祈禱ヲ憤テ曰ク「斯民ハ曰ク以テ我ニ近クキ

唇ヲ以テ我ヲ敬ヒ而シテ其心ハ我ニ遠サカリ徒然我ヲ敬  
 ス十五ノハ

問外貌ノ祈禱ナク唯心中ノ祈禱ノミチ爲シテ足ラザルヤ  
 答此疑問ハ恰モ人間ハ身體カク唯靈魂ノミチニテ満足ナル  
 ニ非ズヤト尋ルニ似タリ夫レ神其聖旨ヲ以テ人ヲ組成  
 スルニ靈魂ト身體ヲ以テス故ニ斯如ク尋ルハ無益ノ論  
 ト云ベシ外貌ノ祈禱ナク唯心中ノ祈禱ノミチ爲スチ以  
 テ足ラザルヤト尋ル亦何レ此ニ異ナラシヤ吾人靈軀ア  
 ルモノ宜シク身體ヲ以テ靈魂ヲ以テ榮テ神ニ歸スベシ  
 蓋シ我靈軀二者ハ皆神ニ屬ス且ツ心ニ充ル者ハ口ニ言  
 フハ自然ノ理ナリ我主イエスキリスト至高至神ナ  
 リト雖モ言語ヲ發シ身體ヲ舉止ス恭ウシテ其心靈ノ祈



禱ヲ表セリ例ハ或時目ヲ舉ケ天ヲ仰キ或時ハ膝ヲ曲  
ケ俯伏シタリ（コリシフ前書六ノ二十、マトフエイ十三ノ三十四、イ  
チアン十七ノ一、ルカ二十二ノ四十一、マトフエイ  
九ノ三十）

○主ノ祈禱

問 總體「ハリステイアニン」ノ恒ニ唱ラベキ所ノ祈禱ノ摸範ヲ  
ル者 是レアラズヤ

答 主ノ祈禱乃チ是ナリ

問 主ノ祈禱ト云フ所何ゾヤ

答 我主イエスキリストノ使徒ヨシ誨ヒ使徒以テ凡ソ信者  
ニ傳宣シタル祈禱ナリ

問 此祈禱ニ言フ所何ゾヤ

答 在天我等ノ父乎

- 一 願クハ爾ノ名聖トセラレ
  - 二 爾ノ國臨ミ格リ
  - 三 爾ノ旨成ルヲ得地ニ在ル天ニ在ルカ如ク
  - 四 我等所需ノ糧今日我等ニ賜ヘ
  - 五 我諸負ヲ免ス我々ガ我等ニ負フ者ヲ免スカ如ク
  - 六 我等ヲ誘惑ニ導ク勿レ
  - 七 乃チ我ヲ拯テ惡ヨリ出セ
- 蓋シ國權能光榮ヲ爾ニ世々ニ歸ス「アミン」（マトフエイ十六  
ノ九）
- 問 主ノ祈禱ヲ善ク閱視センニハ是ヲ如何ニ區分シテ可ナ  
ルヤ
- 答 呼起七求望及ヒ讚揚ニ區分ス
- 呼起

問 何ヲ以テ敢テ神ヲ「父」ト稱スルヤ  
答 イイススハ「父」ト稱スルニ由リ更生ノ恩寵ニ由テ  
之ヲ稱スルナリ

「凡ソ之ヲ受シル者即チ凡ソ其名ヲ信スル者彼レ之ニ權  
ヲ賜フテ神ノ子ト爲ス此衆血氣ニ由ルニ非ズ情慾ニ由  
ルニ非ズ人意ニ由ルニ非ズ生ル乃チ神ニ由ル」(イテア  
十三)

問 獨リ祈ルト雖也「我等ノ父乎」ト恒ニ唱フニキヤ  
答 必ズ唱フルヲ要ス  
問 何爲然ルヤ  
答 「ハリスティアニシ」ノ友愛ニ由リ自己一箇ニ求ムル所ノ善  
ハ亦衆人ノ爲ニ神ニ呼ビ求メザルベカラズ

問 何爲呼起ノ時「在天」ト唱フベキヤ

答 神ニ祈ルニ先ツ凡ソ塵世可壞ノ念ヲ去リ智慧ト心情ヲ  
擧ケテ在天永遠ノ神國ヲ仰ク爲ナリ

◎第一求望ノ神ニ祈ルニ非ズヤ  
問 神ノ名ニ聖ナラニ非ズヤ

答 神ノ名ハ無論自ラ聖ナリ「其名ハ聖ナリ」(四カ一ノ)

問 然ラバ其名如何ニテ再ビ聖セラレ、得ルヤ  
答 其名ハ人々ノ中ニ聖セラレ、得ルニ即チ神ノ永遠ノ聖  
ハ人々ノ中ニ顯ル、ヲ得ルナリ

問 是レ何ヲ以テスルヤ  
答 第三ニ我等思想及ビ心情ノ中ニ神ノ名ヲ持シ其聖ノ要  
求スル所ノ生活ヲ爲シ以テ神ヲ讃揚スルナリ 第二ニ他

人モ我等ノ善行美德ヲ見テ神ヲ讚揚スルナリ  
是如ク爾等ノ殊宜シム人ノ前ニ照ラセ彼等ヲ以爾ノ善  
行ヲ見テ榮ヲ在天爾等ノ父ニ歸セシムベシ(マトフイ)

○第三求望

問主ノ祈禱ノ第二求望ニ言フ所出如何ナル神ノ國ニヤ  
答恩寵ノ國ナリ使徒ノ所謂「義ト和平ト聖神」由ルノ喜悅

(六十七)

問此國未ク臨ミ格ラザルヤ

答或者ニハ此國ノ臨格未全カラズ又或者例ヘバ「罪未ク其  
死セシム」スルノ身ヲ主リ其諸慾ニ徇テ之ニ順フテ致ス

者(六十六)

問其臨ミ格ルヤ如何

答奧密秘然ナリ  
「神ノ國ハ顯然トシテ臨格ス神ノ國爾等ノ衷情ニアリ」  
「十七ノ三」

(十七ノ三)

問神ノ國ト云ルヲ以テ其他「六」ニテ「何ヲ求ムベキ

答光榮ノ國ヲ求ムニ即チ信者將ニ得ントスル完全福樂

「願フハ逝テ」ハ「天」トテ「信者」ヲテ「(十七ノ三)」

○第三求望

問「爾」旨成ルヲ得「下」云ル求望何意ゾヤ  
答是「我」以テ「凡」ソ我爲ス所ノ事或ハ偶然我等ニ生シ來ル

所ノ事皆我欲スル所ノ如ク行ハシメシテ唯聖旨ニ協フ

